

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
1	土工	土工	掘削工	大型ブレイカ工法+ 切土法面整形	岩盤切削機サーフィスマイナー	低騒音・低振動・低粉塵岩盤切削工法	<ul style="list-style-type: none"> ・工期短縮が期待できる ・地域環境に悪影響(騒音、振動、粉塵、飛石)を与えない ・切土法面に悪影響(崩壊、緩み)を与えない 	CG-990014-V	少実績優良技術 (H21年度～)
2	土工	土工	掘削工	人力掘削(片切)	高所岩盤掘削機による岩盤掘削工法	急傾斜地での機械施工を可能としたロッククライミングマシン10型による岩盤掘削工法	<ul style="list-style-type: none"> ・高所危険作業の軽減 ・機械化による急傾斜地での施工が可能 ・施工費や工期が縮減・短縮 	KT-010075-V	少実績優良技術 (H22年度～)
3	土工	土工	残土処理工	残土処理工(生石灰系改良材)	FTマッドキラー工法	吸水系の改良材でペーパースラッジ灰を基材に製造された、自然にやさしい改良材	<ul style="list-style-type: none"> ・養生時間無しに「瞬時」に泥土の改良が可能 ・吸水効果による「物理的改良」 ・改良地盤、処理土の「圧密促進効果」がある 	CB-010011-V	少実績優良技術 (H22年度～)
4	土工	土工	残土処理工	安定処理工(バックホウ混合)	ESR工法	自走式土質改良機による土質改良技術	<ul style="list-style-type: none"> ・原位置において土質改良を行うことができる ・高品質の改良土を安定供給できる ・粉塵発生を抑制、周辺環境の保全に有効 	HR-060002-V	設計比較対象技術 (H23年度～) 少実績優良技術 (H19～23年度)
5	土工	土工	残土処理工	場外搬出・処分 (良質土購入、入替え)	万能土質改良機による建設発生土再利用システム	土質改良工法	<ul style="list-style-type: none"> ・不良土再利用により資源の有効利用が図れる ・コスト縮減効果がある ・様々な用途への利用が可能となる 	KK-980012-V	H20活用促進技術
6	土工	土工	残土処理工	建設副産物(建設汚泥)に係るリサイクルシステム	汚泥改良工法	建設汚泥の有効利用	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト縮減 ・産業廃棄物の発生を抑制 ・資源の有効利用 	SK-990021-V	設計比較対象技術 (H19年度～)
7	土工	土工	残土処理工	場外搬出・処分	オデッサシステム	建設汚泥等造粒化再資源化施設	<ul style="list-style-type: none"> ・物理的脱水処理が不要 ・施設からの排水がない ・現場内での現位置処理が可能 	TH-980015-V	設計比較対象技術 (H20年度～)
8	土工	土工	残土処理工	バックホウ混合	自走式土質改良機	そのままでは利用できない建設発生土を、有効利用・現場内利用をするために、固化材等で改良する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・混合ムラが少なく高品質で安定した改良品質を確保できる ・固化材使用量の低減と工期短縮によるコストダウンが可能 ・粉塵の飛散が極めて少なく、作業・周辺環境に配慮した施工ができる 	KT-990459-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
9	土工	土工	締固め工	干張り機による敷均し管理、オペレーターによる存在回数カウントによる人的施工管理ならびにRFID計測による盛土の締固め管理	GPSによる盛土の敷均し・締固め管理システム	盛土の締固め施工管理をするシステムで、重機上でリアルタイムに施工結果の確認が出来、電子化し保存・帳票出力が可能	<ul style="list-style-type: none"> ・大幅なコストダウンが望める ・重機による労働災害が無く、測量コストを省くことが可能 ・地盤データの面的分布を現場事務所及び各オペレーターが管理・確認できる 	KT-060123-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
10	土工	安定処理工	-	固化材散布後バックホウによる混合攪拌	リテラ(BZ210・BZ200・BZ120)	自走式土質改良機	<ul style="list-style-type: none"> ・原料土と固化材の混合品質が安定 ・粉塵飛散が低減 ・固化材散布や敷き均し作業の軽減 	KK-980067-V	H23推奨技術 H22半推奨技術 設計比較対象技術 (H20年度～)
11	土工	安定処理工	-	バックホウ混合	ロータリースタビライザー	粉体で散布された添加材を0.3～1.2m程度(粉体式)の深さまで均一に攪拌混合し、所定の強度を得る技術	<ul style="list-style-type: none"> ・工期短縮、品質向上、施工精度の向上、経済性の向上。 ・工期短縮:従来技術の日当り施工量は180m²/日(路床 混合深さ1.0m以下)、に対し新技術では420m²/日(混合深さ1.0m)。 	HK-070016-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
12	土工	軽量盛土工	超軽量盛土工	EPS工法(H鋼支柱保護壁タイプ)	ウォールブロック工法	EPS軽量盛土工法での発泡スチロール保護用の壁体を安く、早く、簡単に作成可能な新しい保護壁面材付き軽量盛土工法	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に効率的(工期短縮の効果) ・剝離、脱着を効果的に防止する ・積層時に交通荷重、地震動の鉛直荷重を効率的に吸収するため壁面材に影響を与えない 	QS-040024-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
13	土工	軽量盛土工	超軽量盛土工	超軽量盛土工法	フォームライトW(R-PUR工法)	現場発泡ウレタン軽量盛土材料	<ul style="list-style-type: none"> ・現地盤形状に合わせた施工が可能 ・資材置場ヤードの縮小 ・工期短縮が可能 	QS-990001-V	設計比較対象技術 (H19年度～)
14	共通工	法面工	コンクリート法枠工	自由に変形する型枠鉄筋のプレハブ部材を用いたのり枠構造	ソイルクリート工法	簡易吹付のり枠工	<ul style="list-style-type: none"> ・型枠なしでも規格とおりの断面形状の枠がつけれる ・地山補強の鉄筋挿入工との併用も可能 ・吹付のり枠工に比べ、簡易的な使用材料と施工方法 	CB-980023-V	設計比較対象技術 (H20年度～)
15	共通工	法面工	コンクリート法枠工	現場吹付法枠工 H150×W150タイプ	軽量法枠やまChan	コンパクトに折りたたまれたものを法面で開き、予め配筋された主鉄筋に主鉄筋を結束するだけで簡単に地山へ設置することができる工場製品	<ul style="list-style-type: none"> ・法面での型枠組立・設置作業の省力化 ・断面を小型化することにより、材料を軽量・簡略化 	QS-050004-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
16	共通工	法面工	吹付工	吹付枠工	ユニラップ工法	斜面に対して高強度の吹付け構造物を構築する技術で、長距離・高揚程材料圧送工法	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離・高揚程箇所での施工もプラント移動なしに行える。 ・吹付構造物の設計基準強度を24N/mm²以上に設定可能 ・剛性のある型枠の使用により、打設時の変形が少ない 	KT-980565-V	H23半推奨技術 設計比較対象技術 (H22年度～)
17	共通工	法面工	植生工	厚層基材吹付工	ネッコチップ工法	伐採材と現地発生土を利用した法面緑化工法	<ul style="list-style-type: none"> ・地域植生の保全・復元が期待できる ・廃棄物を緑化資材としてリサイクルできる ・運搬費・処理費が低減される 	CB-980067-V	設計比較対象技術 (H19年度～)
18	共通工	法面工	植生工	植生基材吹付工 T=5cm	PRE(ピーアールイー)緑化工法	植物発生材を使用したコスト縮減型植生基材吹付工	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化基礎工の省略による工期の短縮 ・リサイクルによるコスト縮減 ・廃棄物の低減効果が期待できる 	CG-020023-V	設計比較対象技術 (H20年度～)
19	共通工	法面工	植生工	植生マット工及び植生シート工	多機能フィルター	被覆材による法面保護と植生	<ul style="list-style-type: none"> ・雨滴の衝撃力緩和による土壌浸食防止 ・排水作用が大きいため地表の洗い流しが減少 ・吹付けプラント等の設置撤去が不要 	CG-980018-V	設計比較対象技術 (H20年度～)

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
20	共通工	法面工	植生工	厚層基材吹付工	三宝菌緑化システム	微生物活動による「自己肥培系の確立」によって緑化の持続性が向上する資材	難分解物質を含む炭素率の高い未分解有機物の分解を担う。 ・有機物の分解(堆肥化)を促進するため、植物に必要な窒素等の養分を安定的かつ長期的に供給できる。	HK-060020-V	少実績優良技術 (H21年度～)
21	共通工	法面工	植生工	植生基材吹付工	ミドリナール団粒緑化工法	基盤材を、パーク堆肥から現地発生土、木質チップに変え、土壌菌を加えた	・現場で発生する廃棄物のリサイクル利用 ・埋土種子、飛来落下種子による緑化の基盤としても可能	KT-980420-V	設計比較対象技術 (H21年度～)
22	共通工	法面工	植生工	吹付砕工	ロービングウォール工法	長繊維混入補強土一体緑化工法	・厚い生育基盤の造成で経済的 ・のり面補強効果が得られる ・周辺環境との調和が期待できる	QS-000021-V	設計比較対象技術 (H19年度～)
23	共通工	法面工	植生工	植生基材吹付工	エコアップ緑化工法	客土注入マット工による森林表土に含まれる埋土種子集団(土壤シードバンク)の活用	・森林土壌内に休眠する、地域に由来する種子を直接採取 ・地域の生物多様性の保全を行う ・表土採取には独自に開発したエコアップマシーンを使用	QS-050010-V	少実績優良技術 (H21年度～)
24	共通工	法面工	植生工	厚層基材吹付工	オールグリーン工法	環境配慮型短繊維混入高機能吹付緑化工法	・早期の養分向上が可能 ・環境負荷低減・コスト削減に対して寄与する ・施工能率・安全性の向上および苦渋作業の低減	TH-020031-V	少実績優良技術 (H19年度～)
25	共通工	法面工	植生工	植生基材吹付工 (キャトルパン工法)T=5cm	アルファグリーン緑化吹付工法	コスト縮減・工期短縮・リサイクル型植生基材吹付工	・造成基盤を強固に安定させる ・耐降雨性、耐凍上性を向上 ・施工単価の縮減・工期の短縮が図れる	TH-990001-V	設計比較対象技術 (H19年度～)
26	共通工	法面工	植生工	客土吹付工2cm	グラベール工法	面倒なくストレートに土壌粒子に作用し、粒子が大きい団粒構造をつくり出すことができる	・乾燥しても水に出あっても崩れない強固な耐侵食層を形成する ・植物の生育には理想的な構造が形成され、長く保たれる ・土壌の浸透性・通気性・保水性・保肥性・腐敗性を著しく増加させ、飛砂防止・防塵効果も発揮する	QS-050011-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
27	共通工	法面工	植生工	植生基材吹付工 3cm厚(無播種施工)	イースターマット(自然侵入促進型植生マット)	無播種で施工し、周辺に自生する植物の自然侵入で緑化を行う植生マット	・地域性自生種との遺伝子交雑や、緑化用植物の拡散等の課題を回避できる	CB-050059-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
28	共通工	法面工	地山補強工	吹付のり砕工法	グリーンパネル工法	法面にFRP製格子状パネルを使用し、法面全体の安定を図り、全面緑化を可能とした工法	・雨水等による腐食の懸念が無い ・軽量なため、人力施工が可能で、施工性が向上 ・格子形状のマス目により、法面全体の緑化が可能	CG-010007-V	設計比較対象技術 (H21年度～)
29	共通工	法面工	地山補強工	コンクリート吹付法砕 (ロックボルト付)工法	プレストネット工法	ロックボルト頭部に設置した受圧板に先行して緊張力を与え、土中の拘束力を高め、初期崩壊を防止する地山補強工法	・工場で製作した部品を現場で簡単に組み立て可能 ・吹付機を必要とせず、現場での施工環境が向上 ・上方からの逆巻き施工が容易であり、安全性に優れる。	KK-040047-V	少実績優良技術 (H22年度～)
30	共通工	法面工	地山補強工	吹付砕工	クモの巣ネット工法	防食加工した高強度ネット(テコネット)+ロックボルト=法面保護工	・施工管理が簡単で工期が短縮される ・ネットを被せた構造のため、中抜きの心配はない ・緑化工の併用も可能でネットが目立たなくなる	KT-020056-V	少実績優良技術 (H19年度～)
31	共通工	擁壁工	石・ブロック積 (張)工	ブロック・石を積重ねた簡易な擁壁、もたれ式擁壁	ドリームブロック	大型ブロック積擁壁	・設計条件に応じた任意の控え厚を設定できる ・中詰材に碎石や流用土を用い空積み擁壁とすることが可能 ・本体は350kgと軽量であるため、施工性に優れる	SK-050005-V	少実績優良技術 (H21年度～)
32	共通工	擁壁工	石・ブロック積 (張)工	コンクリートブロック積工	テラセル擁壁工法	高密度ポリエチレンでできたハニカム状の軽量型枠を段積するテラセル擁壁工法	・テラセルに代えたことで、部材が軽量になり、施工性と施工時の安全性が向上。 ・ハニカム構造の拘束効果により、現地発生土や碎石など多様な中詰材が使用可能。	KT-090023-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
33	共通工	擁壁工	プレキャスト 擁壁工	L型擁壁	フーテングレス・パネル工法	土留め壁として、自立式の擁壁を提供する技術	・掘削幅を狭くすることができるため、施工性がよい ・狭い現場で施工ができ、工程も早くすることができる ・現場での交通規制が少なくてすむ	KT-070042-V	H23活用促進技術
34	共通工	擁壁工	プレキャスト 擁壁工	現場打ちコンクリート 擁壁	PC-壁体	土留め構造物を、プレキャスト製品を用いて急速に施工する技術	・急速施工による、工期短縮、工種、施工管理の簡略、経済性の向上 ・自立式による、躯体幅の低減(用地取得面積減)	KT-990077-V	H23活用促進技術
35	共通工	擁壁工	プレキャスト 擁壁工	プレキャストL型擁壁 +車両用防護柵独立 型基礎	Gr・L型擁壁	擁壁のたて壁部分に種別B種またはC種の車両用防護柵の支柱の基礎を組み込んだ車両用防護柵基礎一体型プレキャストL型擁壁	・道路土工の施工量は従来の施工方法より少なくて済む ・省力化および工期短縮が図られ、製品代および施工費用が安くなる ・現場打ちコンクリート防護柵基礎を設置する工法より施工性、経済性が優れている	QS-030051-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
36	共通工	擁壁工	補強土擁壁工	ジオテキスタイル補強土 壁工法	補強土壁工法「テンサーダブルウォール」	ジオテキニ重壁補強土工法.旧技術名称「グリーンレクサー」	・掘削量や中詰土量、補強材の所要数量などの節減 ・間伐材砕形式の壁面工にすることで間伐材の有効活用が図れる。	CB-990067-V	H21活用促進技術
37	共通工	擁壁工	補強土擁壁工	テールアルメ工法	アデムウォール	ジオテキスタイル補強土壁工法	・従来補強土壁に比べ盛土材の適用範囲が広い ・盛土材に現地発生土を使用可能で、建設残土を有効利用 ・現場において切断・接続などの加工が容易である	KK-020061-V	H23活用促進技術
38	共通工	連続地中壁工	連続地中壁工	[仮設・連続地中壁(柱列式)・本体壁(鉄筋コンクリート造)工法・鉄筋コンクリート連続地中壁工法]	鋼製地中連続壁工法	仮設兼用本体壁とする連続地中壁仮設兼用本体壁とする連続地中壁	・連続地中壁の薄壁化、土留め支保工等の削減により工事費の縮減 ・高耐力鋼製連壁部材の活用で、土留支保工の段数等の削減 ・建設副産物発生量の抑制	KT-980191-V	H21活用促進技術
39	共通工	排水構造物工	暗渠工	ヒューム管、コンクリート二次製品の排水 管	ダイブラハウエル管による道路下カルバート工の設計・施工方法(高耐圧ポリエチレン管)	ダイブラハウエル管による道路下カルバート工の設計・施工方法(高耐圧ポリエチレン管)	・軽量のため大型クレーンを必要としない ・コンクリート基礎不要のため工期短縮 ・不等沈下に対応	CB-980025-V	H23準推奨技術 設計比較対象技術 (H20年度～)

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
40	共通工	排水構造物工	暗渠工	クレーン施工による製品据付	コンクリート製品搬送据付装置「リフトローラー工法」	コンクリート二次製品の搬送から据付までの一連の作業を連続的に行うことが出来る工法	・クレーンでの据付ができない場所での施工が可能。 ・曲線部および折れ点部の施工が可能。 ・縦断方向の施工勾配が10%まで、落差部の施工も可能。	CB-990105-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
41	共通工	排水構造物工	暗渠工	開削工法による管布設替え	インシチュフォーム工法 (INS工法)	管渠更生工法	・交通規制等の周辺環境への影響が少ない ・工期が短く、経済性が向上する ・長期性能(耐食性・耐摩耗性)に優れる	QS-980006-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
42	共通工	軟弱地盤処理工	締固め改良工	グラベルドレーン工法	SAVEコンポーザー	静的締固め砂杭工法	・無振動、低騒音 ・低コストで工期も短縮	CB-980039-V	H22推奨技術 H20準推奨技術 設計比較対象技術 (H19年度～)
43	共通工	軟弱地盤処理工	固結工	スラリー攪拌工	パワーブレンダー工法 (スラリー噴射方式)	浅層・中層地盤改良	・低コストと大幅な工期短縮が可能 ・傾斜地での施工が可能 ・近接構造物、周辺地盤への影響が少ない	CB-980012-V	H23推奨技術 設計比較対象技術 (H19年度～)
44	共通工	軟弱地盤処理工	固結工	スラリー攪拌工(二軸施工)	ツイン・ブレードミキシング工法	中層混合処理	・改良体配置に無駄が無く経済的 ・大径の攪拌翼により改良処理能力が高い ・攪拌装置がハックホウ35t級、45t級に取付け可能	KT-050086-V	H24準推奨技術 設計比較対象技術 (H23年度～)
45	共通工	軟弱地盤処理工	固結工	軟弱地盤処理工(スラリー攪拌工・二軸式)	SCM工法	セメント系機械攪拌式浅層改良工法	・セメント系・石灰系あらゆる硬化材を使用できる ・上下方向に攪拌するため、品質の良い改良体が得られる ・粉体、スラリー両方に適応可能	SK-020004-V	H22準推奨技術 設計比較対象技術 (H21年度～)
46	共通工	軟弱地盤処理工	表面安定処理工	敷網工(ひし形金網)	スタビランカ	軟弱地盤上の盛土造成において、軟弱地盤を含む円弧すべり破壊を防止する	・補強材と分離材を併用する必要がない ・高強度の実現により、敷設枚数が少なくなる ・盛土構造物の変形、沈下などが最小限に抑えられる	KK-050097-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
47	共通工	軟弱地盤処理工	表面安定処理工	従来技術なし	トップベース工法(コマ型基礎工法)	井桁状の鉄筋、コマ型コンクリートブロック、砕石、マイ独梁の釣り筋を用いる軟弱地盤改良工法	・コマ型ブロックと間詰砕石が一体となった盤構造を形成する ・応力集中が生じず、地盤内の応力を均等化する ・軸脚部周辺の沈下が減少する	QS-990016-V	H23活用促進技術
48	共通工	軟弱地盤処理工	バーチカルドレーン工法	ペーパードレーン工法	真空圧密ドレーン工法	軟弱な粘性土地盤に対して気密シートを用いずに真空圧密による地盤改良を行う技術	・盛土高さ3～4m相当の荷重土砂の設置・撤去が不要なためコストダウン及び工期短縮が図られる ・浮力により載荷盛土厚(土量)が大きくなる水底地盤では有利 ・現場でのシート同士の間隙(融着)処理のような熟練を要する作業が無い。	HK-060002-V	H23活用促進技術
49	共通工	軟弱地盤処理工	その他	DMM改良+ボードドレーン改良	高強度帯状 ジオシンセティックパラリンク	軟弱地盤上の盛土対策工 敷網工	・抗強度増により改良率削減による経済性向上 ・施工量の減少、敷網工の施工効率が良い ・全体変位が少なくなり残留不等沈下を無くする	HR-990111-V	設計比較対象技術 (H19年度～)
50	共通工	深層混合処理工	固結工	高圧噴射攪拌工(二重管工法)	Superjet(スーパージェット)工法	超大口径改良体を瞬時に達成可能な高圧噴射攪拌工法	・単位時間当たりの改良土量が従来工法の5～8倍 ・達成に伴う排泥量を従来工法の約50%と、大幅な減量化	KK-980026-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
51	共通工	深層混合処理工	固結工	スラリー攪拌工(二軸施工)	SDM工法	高速低変位深層混合処理工法	・工期の短縮が図れる ・低変位施工が可能 ・幅広い土質に対応	KT-980134-V	設計比較対象技術 (H19年度～)
52	共通工	深層混合処理工	固結工	高圧噴射攪拌工法(二重管工法)	LDis(エルディス)工法	高圧噴射工法と機械攪拌工法を併用する周辺地盤変位低減型の高圧噴射地盤改良工法	・施工時の周辺地盤変位を抑制する ・水中施工が可能で、山留め壁、矢板等との密着施工が可能 ・幅広い土質に対応でき、管理システムにより施工管理が容易	KT-980135-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
53	共通工	深層混合処理工	固結工	スラリー機械攪拌工法(CDM)	エポコラム工法(地盤改良工法)	エポコラム-Loto工法(大口径φ2,500地盤改良工法)	・経済性(33%削減)、工期(54%短縮)、品質(変動係数20%程度) ・低速回転・高トルクでの攪拌で施工目的の多様化 ・杭芯の鉛直精度の保持性が高い。	KT-980205-V	H24準推奨技術 設計比較対象技術 (H22年度～)
54	共通工	深層混合処理工	固結工	深層混合処理工法(スラリー攪拌工)	CI-CMC工法	大径・高効率の複合攪拌式深層処理工法	・大径径のため、工期50%短縮・工費10%削減が可能 ・エジェクターの効果で対応N値増加 ・エジェクターのエアによる排土効果で、周辺変位小さい	QS-980018-V	設計比較対象技術 (H24年度～) H22活用促進技術
55	共通工	深層混合処理工	固結工	地盤改良(機械攪拌工法)	RASコラム工法	軟弱地盤中にセメントスラリーを吐出させ、地盤を強化する技術	・大口径化による工期の短縮 ・大口径による経済性の向上 ・高トルクによる硬質地盤への適応が可能	KT-980496-V	H23活用促進技術
56	共通工	深層混合処理工	固結工	JSQ(高圧噴射攪拌二重管方式)工法	X-jet(クロスジェット)工法	地表面から直径15cmの孔を目標深度まで開けるだけで、地中に直径2.5mの固結柱状体を造成できる地盤改良技術	・一定径の改良体の造成が可能 ・トータルパワーの倍増による施工速度の飛躍的な向上 ・改良体の品質向上。(特に腐植土地盤に対して有効)	KT-990495-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
57	共通工	深層混合処理工	固結工	軟弱地盤処理工(スラリー攪拌工)	MITTS工法(CMSシステム)	小型ベースマンを基本とし中深層のスラリー中圧噴射と特殊攪拌翼を併用した新しい原位置地盤改良システムの技術	・市街地での施工が期待される ・改良径の自由選定により経済性が図られる ・工法変更の日数を低減し工期の短縮が図られる	QS-000013-V	設計比較対象技術 (H24年度～) H23活用促進技術
58	共通工	深層混合処理工	固結工	単管工法(高圧噴射攪拌工)	SJMM(エス・ジェイ・エム・エム)工法	高速施工の超高圧ジェット噴射攪拌工法	・大口径で均一な改良体を造成するため、特殊ロッドヘッドの開発により、施工本数が減少。 ・超高圧、大吐出量の固化材スラリーを噴出する超高圧ポンプにより、大口径の改良体の造成できる。	KT-030041-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
59	共通工	薬液注入工	薬液系	薬液注入工法(超微粒子セメント)	浸透固化処理工法	既存構造物直下の液状化対策技術	・薬液の浸透性が良く、削孔数が減少でコスト・工期が低減 ・低圧注入の為、既設構造物直下の液状化対策に利用可能 ・「超微粒子シリカ」を使用するので長期的に劣化しない	KT-990230-V	設計比較対象技術 (H22年度～)

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
60	共通工	アンカー工	グラウンドアンカー工	プレキャストコンクリート製フレーム	KTBSーパーフレームアンカー工法	斜面安定用受圧板として、鋼製フレームを使用した法枠アンカー工法	・受圧板の軽量化 ・施工性の向上 ・自然と調和した景観、植生を考慮した形状。	KT-000115-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
61	共通工	アンカー工	グラウンドアンカー工	(エポキシ鋼線棒を部分アンカー工法の場合) (荷重470kN、全長15m、定着長4m、自由長10m)	EHD永久アンカー	永久アンカー工法	・自由長部の水密性が向上。 ・水深100mで使用可能。 ・緊張作業時間が短縮50%向上。	KT-040039-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
62	共通工	アンカー工	グラウンドアンカー工	工場製品コンクリート製受圧板	SEEE/KIT受圧板	グラウンドアンカーの受圧板として開発	・現場作業を省力化でき、工期の短縮が図れる。 ・逆巻き施工が容易、工期の短縮及び施工時安全性向上。 ・全面緑化に近い緑化ができる。	QS-040016-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
63	共通工	アンカー工	鉄筋挿入工	グラウンドアンカー工(プレキャスト受圧板+アンカー工法)	地山補強土『PAN WALL(パンウォール)工法』	比較的切土高さの高い地山をプレキャストコンクリートパネルと補強材を使用した逆巻き施工で急勾配斜面を築造する技術	・改変面積の減少、支障物の保護、安全性の向上 ・省力化と環境負荷の低減 ・意匠デザインが多様化による景観性の向上	CB-980093-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
64	共通工	アンカー工	鉄筋挿入工	現場打吹付法枠工	KITフレーム工法	法面の鉄筋挿入工の反力体として使用される鋼製反力体	・開放型の全面緑化に近い緑化が可能 ・施工に関して特別な技能を必要としない ・工期短縮により、工事費は従来技術に比べて縮減できる	QS-020037-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
65	共通工	アンカー工	鉄筋挿入工	ロータリーバーカッショニング式ボーリングマシンによる削孔	エアーキッド工法	効率的な削孔が行える軽量小型の全エア駆動削孔機によるボーリング技術	・崩壊性地盤でも孔壁を保持でき、補強鉄筋の定着が確実 ・削孔システムが簡素であり、仮設費が縮減される ・急傾斜地下部など狭隘な現場でも搬入が容易である	QS-050008-V	少実績優良技術 (H23年度～)
66	共通工	構造物とリ わし工	その他	処理施設へ運搬・処理	再生クラッシャーラン製造工(脱着式)	コンクリート路を路盤材、基礎材、盛土材として現場内利用を図ることができる技術	・工事コスト削減、輸送車両が引き起こす交通渋滞や交通事故 ・振動・騒音による地域住民環境の改善 ・道路メンテナンス費の削減	HK-080003-V	H23活用促進技術
67	共通工	ボックスカルバート工	躯体工	狭隘な施工場所での施工方法(トラックレーン等による逐進施工)	BCCS工法	ボックスカルバート台車敷設工法	・クレーンが困難な場所において、ボックスカルバートの据付け可能 ・安全で確実な施工 ・油圧式上下調整とスライド機構により、高い据付精度の確保	CB-980040-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
68	共通工	ボックスカルバート工	躯体工	場所打ちボックスカルバート	スーパーカルバート	プレキャスト側壁および頂版部材を施工現場に搬入し組み立てた後、底版、側壁および頂版に場所打ちコンクリートを打設してボックスカルバートを構築する工法	・支保工足場が不要。 ・地盤の不陸に対応が可能。 ・現場における施工工期の短縮と省人化が可能。	CB-980060-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
69	共通工	ボックスカルバート工	躯体工	現場打ボックスカルバート	スーパーボックスカルバート	大型PROボックスカルバート工法	・主部材のプレキャスト化により、工期の短縮と省人化が可能 ・部材軽減よりコスト削減 ・頂版、側壁部のプレキャスト化により、支保工が不要	TH-030024-V	設計比較対象技術 (H21年度～)
70	共通工	かご工	その他	かごマット工	河川堤防用ドレーン工「ドレーンロックFR型」	河川堤防用ドレーン工に求められる最適形状を実現すると同時に、従来工法に比べ、大幅なコスト削減と施工性改善を実現した「かご式ドレーン工」	・従来技術に比べ大幅なコストダウン ・従来技術に比べ施工性を改善 ・緩勾配裏面に最適なドレーン形状の構築が可能	KK-050126-V	設計比較対象技術 (H23年度～) 少実績優良技術 (H20～23年度)
71	共通工	その他	-	くい打ち、番線結束	セフテム2看板サポート金具	工事用看板が必要な箇所について、看板と一体化した既製金具により防護柵や緑石部に固定して設置する技術	・看板設置が容易になる ・木杭や番線などの産業廃棄物を発生させない ・何度でも転用可能である	CB-010019-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
72	共通工	その他	-	軌条式横引き工法	エア-キャスター-工法	プレキャストボックスカルバートなどコンクリート二次製品をエア-キャスターを用いて横移動して敷設する技術	・基礎工事に要する費用、手間の縮減及び工期短縮が期待できる ・連続作業によるS字、屈曲部、クランク施工も可能で作業性改善 ・重量15t以下の搬送物の人力施工も可能で、省力化施工が期待できる	KT-010013-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
73	共通工	排水構造物工	その他	現場打ち門形カルバート	斜角門形カルバート	道路と道路、道路と水路の交差角が直角以外で斜角に交差する場合など、対応の自由度を高め、現場毎に自由な角度で対応できる技術	・道路及び水路の計画において、交差角度を自由に設定できる ・支保工が不要で既設水路を跨ぐ現場の場合、通水したままで通年施工が可能 ・工事期間の短縮が大きく期待出来る。	CB-050060-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
74	基礎工	鋼管・既製コンクリート杭打設工	打設工	場所打ちコンクリート杭	ガンテツパイル	鋼管ソイルセメント杭	・高い支持力により本数低減 ・建設発生土低減 ・工期短縮	KT-980188-V	H20準推奨技術 設計比較対象技術 (H19年度～)
75	基礎工	鋼管・既製コンクリート杭打設工	打設工	場所打ち杭工法	ソイルセメント合成鋼管杭工法(HYSC杭)	鋼管ソイルセメント杭工法	・現位置土を使用でき建設発生土が少なくなり、コスト削減が期待できる ・工期を短くでき、効率の向上が期待できる	KT-980320-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
76	基礎工	鋼管・既製コンクリート杭打設工	打設工	ダウンザホールハンマ工	ガンパイル工法	水ジェットで岩砕を除去しながら振動杭打ち機によって鋼杭を岩盤中に直接打設させる岩盤杭打ち工法	・施工設備が大幅に簡素化される ・現場作業が大幅に簡素化される ・従来の岩盤打設工法より施工能力が大きく工期短縮が図れる	KT-990499-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
77	基礎工	場所打ち杭工	アースオーガ工	場所打ち杭工(アースオーガ工・硬質地盤用アースオーガ工)	R-SKT(ロックスカット)工法	ラフタークレーンのブームの先端に直接アースオーガを取り付け掘削削孔する工法	・盛土等せずに法上がり、法下りの法面にて杭打ちが可能 ・川の中の杭打ち施工は棧橋の架設が不要で岸から可能 ・工期工程の短縮が図られ経費の削減が可能	CB-030083-V	少実績優良技術 (H22年度～)
78	基礎工	場所打ち杭工	大口径ボーリングマシン工	大口径ボーリングマシン工	サイクルハンマー工法(ロータリーテーブル式)	硬質地盤に対応した超高周波型エア-サイクルビットによるロータリーテーブル式大口径掘削	・大口径ボーリングマシン工法より大幅な工期短縮が出来る。 ・ペントナイト泥水を使用しない為、産業廃棄物を発生しない。 ・大口径ボーリングマシン工法より施工費の圧縮が出来る。	QS-050019-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
79	基礎工	場所打ち杭工	その他	はつり工法	クイカッター	現場打ち造成杭の杭頭余盛コンクリート処理を専用破砕剤を用いて静かに行うための技術	・はつり作業時の振動・騒音・粉塵の抑制、作業環境の改善が図れる。 ・根切り時に余盛コンクリートの吊上げを行うので工期の短縮が図れる。 ・破砕工法によるが、はつり工法と比べ安価。	KT-000128-V	H24活用促進技術

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
80	基礎工	ケーソン工	オープンケーソン工	ニューマチックケーソン工法	圧入ケーソン工法(ハイアック方式)	ケーソンを油圧ジャッキを併用して圧入沈設する工法	<ul style="list-style-type: none"> 沈設精度が高く、近接施工が可能 周辺地盤の乱れは少なく、地中の地盤変状を抑制できる 平面形状が不整形なケーソンや空頭制限のあっても施工可能 	KT-990573-V	少実績優良技術 (H22年度～)
81	基礎工	ケーソン工	ニューマチックケーソン工	作業員の入面による機械(潜函用シャベル)掘削	白石式無人ケーソン工法	遠隔操作によるニューマチックケーソンの無人掘削工法	<ul style="list-style-type: none"> コスト13.44%削減 工程18.58%短縮 安全性の向上 	KT-990443-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
82	基礎工	鋼管矢板基礎工	-	鋼管杭打工(中掘工)	鋼管矢板圧入工法	鋼管矢板の静的圧入工法	<ul style="list-style-type: none"> 従来技術で乗り入れ構台が不要 コスト削減と工程短縮が可能 安全・施工の面でも有利で周辺環境への影響が小さい 	CB-980119-V	少実績優良技術 (H21年度～)
83	基礎工	その他	-	直接基礎	抵抗板付鋼製杭基礎(ポールアンカー100型)	道路標識柱及び道路照明柱用基礎	<ul style="list-style-type: none"> 回送費が削減できる 掘削を伴わない迅速施工により経済性と工程が向上 施工時間短縮による交通規制抑制や掘削残土の発生抑制 	KK-070008-V	H22準推奨技術 H22活用促進技術
84	基礎工	その他	-	大口径ボーリング	MLT工法	硬質地盤に杭、鋼矢板を打ち込む際、排土をさすずに効率良く削削する技術	<ul style="list-style-type: none"> 工期短縮、コスト削減 自然環境、周辺環境への影響抑制 安全性の向上 	HR-990077-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
85	コンクリート工	コンクリート工	コンクリート打設	チッピングによるコンクリート鉛直打継目の目粗し処理	KKシート工法	コンクリート鉛直打継目処理シート工法	<ul style="list-style-type: none"> 均質な打ち継ぎ面処理が可能 施工の合理化が図れる 騒音や粉塵および汚濁水などの発生がない 	KT-030007-V	H23準推奨技術 設計比較対象技術 (H22年度～)
86	コンクリート工	コンクリート工	コンクリート打設	レイタンス処理工法(遅延剤使用)	ジョイントエースJA-40	コンクリート打ち継ぎ面処理剤	<ul style="list-style-type: none"> 打ち継ぎ部の耐久性向上 作業の省力化、経済性の向上および周辺環境の保全が可能 旧コンクリートとの付着とレイタンス層の改質効果が向上 	KT-010204-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
87	コンクリート工	コンクリート工	コンクリート打設	レイタンス処理(表面凝結遅延剤使用による)	ジョインテックスCT-400	コンクリート打ち継ぎの際、レイタンスの洗い出しが不要な材料	<ul style="list-style-type: none"> 打ち継ぎ処理に掛かる費用を削減 作業工程の短縮 レイタンス処理液が出ないので、周辺環境への影響がない 	KT-070054-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
88	コンクリート工	コンクリート工	コンクリート打設	コンクリート用流動化剤	生コンクリート改質材	高耐久性コンクリートを促す人工セオライトを使用した生コンクリート改質材	<ul style="list-style-type: none"> クラック発生量の減少、ワーカビリティの改善が図られる 急激な硬化が抑えられクラック発生が減少する スランプ低下を減少させ流動性を保つ事ができる 	KT-070086-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
89	コンクリート工	コンクリート工	コンクリート打設	チッピングによる目荒らし処理	リタメイトGJ	洗い出し処理による旧コンクリート部の目荒らしを目的に開発され、鉛直打ち継ぎ部の均一な目荒らしを可能にする技術	<ul style="list-style-type: none"> 表面を目荒らし骨材の露出が簡単に出来る 骨材が露出した所としない所がはっきり確認が取れ、均一に処理する効果がある 	TH-990084-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
90	コンクリート工	コンクリート工	コンクリート打設	レイタンス処理(高圧洗浄機使用)	ディスパライト(GR、ER、DV、DV-S)	均一性に優れた高品質の打継面が得られるコンクリートの打継目処理剤	<ul style="list-style-type: none"> 作業の省力化、経済性の向上、打継目の品質向上効果が期待できる。 	KK-990050-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
91	コンクリート工	コンクリート工	コンクリート打設	コンクリートのポンプ圧送における先行モルタル	次世代コンクリート誘導剤スリックパワープレミアム	コンクリートポンプでのコンクリート圧送初期(ブーム打設)におけるパイプの詰まりを低減するための先行剤	<ul style="list-style-type: none"> 従来モルタル工法に比べて、CO2・産業廃棄物・コスト削減が可能 	KK-100052-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
92	コンクリート工	コンクリート工	養生	給熱ヒーター養生	断熱養生シートによる断熱養生工法	コンクリートの養生で保湿・保温を行う技術	<ul style="list-style-type: none"> CO2の削減が期待できる コンクリートの施工で品質確保を行う上で有効である 初期の表面乾燥によるひび割れを抑制できる 	KT-070067-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
93	コンクリート工	コンクリート工	養生	ウレタン樹脂	珪酸塩系含浸コンクリート保護材	コンクリートの表面に塗布し、含浸させることで有害孔を無害孔とし、劣化因子の進入を防ぎ耐久性を向上させる技術	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート構造物の防水性及び耐久性を向上させる コンクリートの中性化及び鋼材の腐食を防止する 湿潤性を保持し、収縮クラックの発生を防止する 	KT-080005-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
94	コンクリート工	コンクリート工	型枠工	一般型枠工法	CF工法(キャンパーフォーム工法)	作業手順書に則って容易に且つ短時間に組立・設置ができる型枠工法	<ul style="list-style-type: none"> 狭い場所での作業性に優れ、型枠設置工程の時間の短縮が図れる 使用済みのベニヤの再利用により、産業廃棄物を減少 	HK-070010-V	少実績優良技術 (H23年度～)
95	コンクリート工	コンクリート工	型枠工	残存化粧型枠工	デコメッシュ	現場打ちコンクリート構造物の残存化粧型枠	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物が排出されないで、環境負荷が低い 超軽量化(8.5kg/m²/枚)が図れ、作業性、安全性、省力化が向上 重量が向上すると共に、表面が粗く、生物に優しい出来型となる 	KT-070100-V	少実績優良技術 (H23年度～)
96	コンクリート工	コンクリート工	型枠工	モルタルを練り、Pコン穴に丸コチで押し込み仕上げる。	スピードコン	内部にツメ状突起を付けたPコン穴処理栓。	<ul style="list-style-type: none"> 接着剤を使わず、Pコン穴に押し込むだけのため誰でも施工が可能 	KT-060141-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
97	コンクリート工	コンクリート工	型枠工	型枠工事において、Pコンと漏水防止用の止水リングを使用し、Pコンを取外した際の穴を練りモルタルで穴埋めする。	止水コン	コンクリート躯体壁面からの漏水防止として開発した埋め込みコン。	<ul style="list-style-type: none"> 漏水防止効果により、二重壁の設置、防水、漏水工事等がいらなくなり、工事費の削減につながる。 型枠解体後に、キャップを埋め込むだけなので、練りモルタルによるPコン穴埋めがいない。 	KT-070002-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
98	コンクリート工	コンクリート工	型枠工	プレキャスト(二次製品)工法及び現場打コンクリート工法	イーシーフレーム工法	連続断面のコンクリート構造物施工の機械化	<ul style="list-style-type: none"> P型水路の「呑み口」巾のスリム化により、グレーチングの削減されコスト削減につながる。 グレーチングの削減されることで維持管理の軽減 	KT-980111-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
99	コンクリート工	コンクリート工	鉄筋工	標準フック定着(半円形フック、鋭角フック、直角フックなど)	Tヘッド工法鉄筋	過密鉄筋の施工性改善	<ul style="list-style-type: none"> 配筋の施工性、コンクリートの充填性が大幅に向上 定着プレート(の設置)や注入等の作業が不要 半円形フックなどと同等の定着性能を有す 	KT-010018-V	H22活用促進技術

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
100	コンクリート工	コンクリート工	鉄筋工	従来型の鋭角フック、半円形フック及びコの字型せん断補強鉄筋	Head-bar(ヘッドバー)	プレート定着型のせん断補強鉄筋	・施工性が改善され工程短縮になる ・ピッチや配置の正確性が良くなり品質が向上する ・半円形フックと同等以上の定着性能を有する	KT-010207-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
101	コンクリート工	コンクリート工	鉄筋工	ハート型スペーサーブロック	鉄筋工専用ウォールスペーサーブロック	鉄筋コンクリート構造物の構造鉄筋の被りを確保する資材	・今までにない形状で、横鉄筋に引っ掛けて縦鉄筋にアンカー部分が当たって自重により自立 ・型枠設置作業やコンクリート打設作業時に脱落せず、生コンクリートの流動を妨げない	HK-100011-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
102	コンクリート工	コンクリート工	その他	Vカット目地・目地棒(取外後コーキング)+鉄板+止水板	KB目地	ノンコーキング式コンクリートひび割れ誘発目地材	・コーキング作業が不要 ・専用のボルト(A,Bタイプ)の固定により容易に取り付け可能 ・(Aタイプ)目地材により、かぶり内での止水効果	HK-040003-V	H22活用促進技術
103	コンクリート工	コンクリート工	その他	表面に化粧目地・躯体中に断面欠損用鉄板、漏水防止に止水板	サンタックスパンシール誘発目地材	止水機能を有するコンクリート誘発目地材	・ひび割れを確実に化粧目地内に集め美観を損ねない ・誘発目地材はプチルゴム被覆タイプで、漏水を防ぎ鉄筋を腐食から守る	HR-990005-V	H21活用促進技術
104	コンクリート工	コンクリート工	その他	表面被覆工法	浸透性吸水防止材「マジカルレバラー」	コンクリートの耐久性を向上させる表面保護材料	・1回の塗布で従来の3回塗布した場合と同等の撥水効果 ・工期の短縮および施工費の低減、耐久性効果の長期化 ・材料がクリーム状で鉛直面や下面でも飛散や液ダレがしない	TS-030006-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
105	コンクリート工	コンクリート工	その他	RC橋脚	ML工法	コンクリート製橋脚の施工における省力化、工期短縮を図るとともに、経済性および耐震性を向上させる技術	・外面リブ付鋼管が主鉄筋代替となり、主鉄筋量を削減できる ・普通鉄筋、中間帯鉄筋量の削減が可能である ・主に鉄筋工、型枠工の削減により工期が短縮できる	HK-030001-V	H23活用促進技術
106	コンクリート工	コンクリート工	その他	表面塗布型製品(パソテックス、パラテックス)	ケイ酸質リチウム系コンクリート改質剤「Osma」	塩害、凍結融解などの劣化促進を防ぎコンクリート構造物に長寿命化対策を施す安全な製品	・コンクリートの長寿命化対策を従来の打設手順のまま、後工程の施工(塗布)で行える ・施工後のライフサイクルコストを大幅に削減する事が可能 ・耐用年数経過廃棄後の完全リサイクルが可能	HK-070015-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
107	コンクリート工	コンクリート工	その他	鉄筋コンクリート橋脚	REED工法	橋脚について、作業の簡便化を図り、型枠の組立・脱型およびコンクリートの養生を省略することと合わせて、その構築に係る工期を短縮できる技術	・省人化・省力化および工期の大幅な短縮、安全性の向上 ・従来の鉄筋コンクリート構造に比べ耐震性(変形性能)が向上 ・構造物の美観が向上	SK-980051-V	少実績優良技術 (H22年度～)
108	コンクリート工	コンクリート工	その他	Vカット目地(目地棒+誘発鉄板+埋止止水板)及びシール充填	トリガージョイント	特定の位置にひび割れを人為的に集中させ、漏水や鉄筋腐食を防ぎ、施工性能に優れた止水性能を有するコンクリートひび割れ誘発目地材	・シール充填処理の施工工程が省略され、経済性が向上する。 ・型枠への取り付けが容易に出来る事により、施工性が上がる。 ・断面欠損材は多数の孔を有しており、施工現場の状況に応じ確率適宜に取り付け作業が行える為、自由度が高い施工性が可能。	CG-080014-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
109	コンクリート工	その他	-	張りコンクリート工法	ザイペックス工法	無機質セメント結晶増殖材によるコンクリート躯体改質	・空隙やひび割れ面のセメント結晶増殖による躯体の緻密化 ・躯体緻密化により水の浸入を防ぎ強度増加がある ・ひび割れ面にセメント結晶を生成して止水する	GS-000011-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
110	コンクリート工	その他	-	従来はコンクリートの打放し。維持管理に高圧洗浄やモルタル充填、ひび割れ補修にエポキシ注入などを行う	コンクリート浸透性改質剤[RCガードテックス]	躯体防水・耐久性向上・塩害防止・凍害防止・強度向上・クラック防止・エポキシ防止・漏水部の止水ができる技術	・ゆげ・圧縮強度が向上し防水性・耐久性が半永久的に向上 ・コンクリートの中酸化や鋼材の腐食防止に有効 ・鋼材の腐食を防ぎ、pH値を適正に保つ	KT-060075-V	H23活用促進技術
111	仮設工	仮設材設置撤去工	-	単管パイプに自在ステップを一枚一枚傾斜角度を合わせ取り付ける工法	ラク2タラップ	ステップ一枚の傾斜角度を合わせるだけで、タラップ全体のステップが一同に、合わせる新昇降機材	・ユニット内のステップ角度を同一化等により安全性が向上 ・軽量化や設置時間の短縮	KT-010099-V	設計比較対象技術 (H24年度～) 少実績優良技術 (H22～24年度)
112	仮設工	仮設材設置撤去工	-	切板を用いた溶接方法	リンクプレート	本技術は敷鉄板を金具(リンクプレート)で固定する方法	・特殊安全ピンにより敷鉄板のずれを防止し、安全性が向上 ・雨天での取付が可能となし、工期が短縮 ・ボルト以外は繰り返し使用が可能となし、経済性が向上	KT-060068-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
113	仮設工	仮設材設置撤去工	-	盛り替え梁工法	スルーサー	切梁式土留め工法を用いた既設構造物のRC巻立て耐震補強工事において、切梁と既設構造物との間のRC巻立て部に設置する埋設型の切梁受け金具	・工期短縮及び安全性向上が図れる ・工期短縮及び工費削減が図れる ・品質の向上が図れる	CG-040004-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
114	仮設工	仮設材設置撤去工	-	単管パイプにクランプ付きステップを一枚一枚傾斜角度を合わせ取り付ける工法	法面2号ユニバーサルユニット自在階段	取付角度が自在に設定できるユニット式アルミ合金製階段	・単管パイプ+クランプ付きステップとの重量比66.1%削減 ・角度調節が一度に簡単に出来る、安全性の向上が図れる ・設置解体時間比83.3%削減	KT-090046-V	H24推奨 設計比較対象技術 (H22年度～)
115	仮設工	足場支保工	足場工	単管パイプ・クランプ等による工法	法面機械構台システム足場	法面工用F-1法面8号	・緊結力が大幅に向上し、安全性が増した ・緊結作業がスピーディーになり作業効率がアップ ・多様な地盤に対応出来る	KT-060089-V	少実績優良技術 (H20年度～)
116	仮設工	足場支保工	足場工	単管吊り足場	ラック足場工法	ラックレール式移動吊足場	・工期短縮、労務費軽減 ・従来の足場に比べ美観を損ねない ・衝撃・風圧による足場の座屈は起きない	SK-050011-V	設計比較対象技術 (H20年度～)
117	仮設工	足場支保工	足場工	仮橋・仮棧橋工	YTロック工法	杭打ち機やボーリングマシン掘付のための鋼製構台、および法面工事における単管足場に代わる新技術	・転落、落下の危険性が少なくなり安全性の向上が期待される ・設置精度にばらつきがなく品質が確保される ・組立て期間の短縮と労務費および運搬費の削減が期待される	KK-080017-V	H24推奨 設計比較対象技術 (H23年度～)
118	仮設工	水位低下工	締切排水工	鋼矢板仮締切工法	仮締切STEP工法	水中既設構造物の仮締切	・鋼製のパネルへの変更で、工期短縮が図られる ・鋼矢板の打抜時の騒音振動がない ・止水壁設置撤去費用を低減され、経済性が向上	KT-070065-V	少実績優良技術 (H21年度～)

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
119	仮設工	仮設・棧橋工	—	仮橋・仮棧橋工	仮橋仮棧橋斜張式架設工法	仮橋・仮棧橋工を斜張設備により上部工架設先行型で施工する技術	・工期が短縮され経済性・安全性が向上した ・上部工と下部工の併行作業が可能となり施工性が向上した ・原地盤の掘削を最小限とすることで自然環境への影響を抑制	KT-990222-V	H23活用促進技術
120	仮設工	濁水処理工 (一般土木工事)	—	濁水処理装置(ポータブル型・機械処理沈殿方式)	水処理装置「ゼロシステム」	建設現場から発生する汚濁水や工場排水などの浄化	・排出汚泥は粘りが少なく、疎水性に優れる。 ・設置・撤去・移動を短期間に行え、工期短縮、省スペース、省電力化により、トータルコスト削減が期待できる。 ・各種、ダブルの装備でより確実で、安全な処理を行うことができます。	HK-080016-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
121	仮設工	濁水処理工 (一般土木工事)	—	濁水処理工(一般土木工事)[PAC・有機高分子凝集剤・炭酸ガス]	水澄みいる	無機系凝集沈降剤	・凝集力が強く、沈降速度が速いので作業効率が向上。 ・1剤で機能を有し、工程(設備)が省力化できる。 ・海水、アオコ水、低濁度水及び水素イオン濃度にこだわることなく、効果を発揮する。	KK-040029-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
122	仮設工	防塵処理工	—	ブルーシートによる被覆処理	植物原料の粉塵防止剤	土壌の飛砂・粉塵を抑制する粉塵防止剤	・施工が散布するのみと簡易のため施工期間を短縮できる。 ・生分解性を有するため撤収作業の必要がなく、インシャルコスト・トータルコスト共にコスト削減が可能。 ・バイオマス製品のため人体や自然に優しい	KT-060139-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
123	仮設工	その他	—	ポリプロピレン製のフレキシブルコンテナを用いた仮設工(6ヶ月間仮設)	耐候性大型土のう「ツートンバッグ」	紫外線を遮蔽する化学繊維を使用し耐候性を向上させた土木用大型土のう	・紫外線劣化に対する耐久性に優れているため、品質が向上する。 ・設置後1年以上を経過しても移動・転用が可能のためコスト削減が図れる。	KT-060144-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
124	河川海岸	消波根固めブロック	—	標準平型ブロック	ログブロック工法	間伐材と特殊布製型枠を用いた根固め・護床工法	・鋼製型枠の脱型および維持管理(型枠清掃、塗油等)が不要 ・工期が約78%短縮可能で、施工性に優れている ・施工面積より直工費で約12%(4tの場合)経済性が向上する	KT-020076-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
125	河川海岸	浚渫工	—	小型ポンプ浚渫船(D250ps型)	真空吸引圧送浚渫工法	港湾・河川・湖沼等に堆積したヘドロ・土砂を高含泥率の高濃度で浚渫する技術	・高濃度、高含泥率浚渫により広大な処理、処分地を必要としない。 ・改良された先端吸引アタッチメントによる真空吸引方式のため、浚渫作業時に現場周辺の水質汚濁が減少 ・システムの運搬は陸送可搬式	HK-070001-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
126	河川海岸	軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管	—	可換鋼板	フレックスパイル FP-Z型	進水壁に発生する変位を可換鋼板を設置して吸収する技術	・ゴム部材の改善により作業の正確性、迅速性が向上 ・先端柵や保護板の改善により、工期の短縮やコスト削減	KT-030049-V	少実績優良技術 (H24年度～)
127	河川海岸	軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管	—	ローラーゲート	KaNaFゲート	河川の樋門・樋管用浮体構造起伏ゲート	・人為的な開閉操作を必要としない ・洪水等の増水にも適時に対応 ・重量が軽く、軟弱地盤に対しても安定し易い	KT-990126-V	H21準推奨技術 設計比較対象技術 (H21年度～)
128	河川海岸	軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管	—	現場打コンクリートによる樋門函体	プレキャスト樋門工法	樋門の本体、造水壁、胸壁、ゲート部、翼壁等各部位のプレキャスト化	・柔構造樋門の特性である施工中の沈下に対応可能 ・オールプレキャスト化の場合は大規模に工期短縮となる ・柔構造特性、仮設、工期、工費、LCC等、トータルコストで効果が大きい	HK-030028-V	H24準推奨技術 設計比較対象技術 (H23年度～)
129	河川海岸	多自然型護岸工	—	巨石積み	プランチブロック工法	自然調和型土木構造物	・現地発生材の利用や施工の容易性によるコストの低減 ・一般的な施工に必要な基礎コンクリートが不要 ・安定性に優れ生物生息環境に寄与	CG-050005-V	少実績優良技術 (H22年度～)
130	河川海岸	多自然型護岸工	—	ブロック積(張)工	ゴビマット	多数のコンクリートブロックを合成繊維不織布フィルターシートに一体化したブロックマット	・現場施工が省力化でき、工期の大幅な短縮が可能 ・多自然護岸にすることができる ・雨滴・流水などによる侵食に対して優れた防食効果を発揮する	KT-990407-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
131	河川海岸	多自然型護岸工	—	ブロック積(張)工	連結空積ブロック「ふる里」	空積多孔質構造により動植物の生息が可能であり生態系の形成に配慮	・施工性が良く、大幅な省力化と省人化が図れ経済的なブロック。 ・横連結構造により、カーブ施工がスムーズに出来る。	HR-020013-V	設計比較対象技術 (H23年度～) 少実績優良技術 (H22～23年度)
132	河川海岸	多自然型護岸工	—	練石積(張)	ハードストーン工法	自然石を乱張した前面パネルと背面パネルをボルトで連結したコンクリートブロックに、胴込コンクリートを充填する練積(張)護岸・擁壁工法	・自然石の練石積(張)工をブロック化することで施工性を大きく改善し、工程が約70%短縮、直接工事費が約22%削減。 ・ブロックが大型で据付けが容易かつ、熟練工が不要で施工可能な機能も有する	KT-060105-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
133	河川海岸	多自然型護岸工	—	ブロック積(張)工	環境保全型大型覆土連結ブロック工法	河川護岸の法覆工に豊かな植生環境を創出するとともに、施工性を向上する技術	・覆土・客土の滑り出しを抑制し、被覆土が長期的に安定する。 ・ブロックの隙間が大きく、覆土と地盤が連続するため植物にとって十分な水分・養分の供給が可能。 ・ブロックが大型かつ連結が容易なため、大規模な工期短縮が図れる。	KT-990468-V	H24活用促進技術
134	河川海岸	多自然型護岸工	—	ブロック積(張)工	ソルコマット工法	コンクリートブロックを多数接着固定したマット状の製品で護岸を覆い、土壌の保護・侵食防止を目的とし、同時に護岸の緑化を図る技術	・重機を用いてブロックマットを直接法面に敷設することにより、一度に大きな面積を被覆することができるので、施工の省力化と工期の短縮を図ることができる。 ・フィルタークロスを通り、ブロックの開孔部から植物が再生できる。	QS-080013-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
135	河川海岸	多自然型護岸工	—	その他	ストーンネット工法	自然石固着金網による多自然型護岸工法	・自然石を用いた透水性構造により、水辺の生態系を保全 ・緑化が可能で、景観性の向上が図れる。 ・カーブ施工が容易でさまざまな地形に対応可能	CB-990033-V	H22準推奨技術 設計比較対象技術 (H21年度～)
136	河川海岸	多自然型護岸工	—	その他	地中控え護岸工法	TRD工法を用いた多自然型低水護岸工法	・施工時に自然河岸に手を加えることなく、構築できる。 ・河川側の仮締め切りが不要で通年施工が可能である。 ・機械施工で省人化・コスト削減・工期短縮が図れる。	KT-980128-V	H21準推奨技術 H21活用促進技術
137	河川海岸	多自然型護岸工	—	その他	侵食防止シート工	植生の耐侵食力を活用した堤防のり面や河岸の侵食防止工(のり覆工)	・植物の根茎の伸長をほとんど阻害しない。 ・シートを埋設するだけの比較的簡易な工法(コスト削減、施工時の安全性の向上)	QS-020022-V	H21準推奨技術 H21活用促進技術

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
138	河川海岸	多自然型護岸工	その他	コンクリートブロック張工(連節ブロック)+覆土+張芝	グリットシーパー工	河川等において、護岸の施工とともに、緑化が図れる技術	・施工直後から流速5m/sに対応する耐流速性をもった護岸を形成可能 ・従来工法と比較し、コスト削減が図れる ・従来工法と比較し、工期短縮が図れる	CG-040015-V	H24準推奨技術 設計比較対象技術 (H23年度～)
139	河川海岸	多自然型護岸工	その他	張芝工	ヤシ繊維ジオテキスタイルを用いた多自然型工法	法面保護、法面侵食防止等について、天然繊維であるヤシ繊維を用いた多自然型工法技術	・通常のコンクリート等を用いた人工的なものではなく、地球環境にやさしい天然繊維を用いた水辺の生態系をもう一度再生・復元することができる。	QS-980228-V	H24活用促進技術
140	河川海岸	護岸基礎ブロック設置工	-	現地で型枠組立、コンクリート打設、養生、型ばらし	プレキャストコンクリート基礎工「ベースブロック」	法覆工に使用する基礎工のプレキャスト製品	・工期短縮、省資源化。 ・作業環境の改善。 ・品質の向上。	CB-990024-V	H21準推奨技術 設計比較対象技術 (H21年度～)
141	河川海岸	護岸基礎ブロック設置工	-	現場打ち河川護岸基礎コンクリート(高さ70cm、上幅30cm、下幅80cm)	河川護岸基礎用プレキャストコンクリートブロック	品質の向上、施工の省力化、工期の短縮を図った河川護岸基礎用プレキャストコンクリートブロック	・プレキャスト製品のために、大幅な工期短縮 ・据付け自在性があり河川の法線に沿って施工可能 ・完全なドライでない据付けが可能で、水管工の節減が可能	CG-020009-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
142	河川海岸	護岸基礎ブロック設置工	-	現場打ちコンクリート基礎による護岸工	eベース(一体型基礎ブロック)	基礎コンクリートと根入れブロックとを一体化した基礎ブロック	・施工期間の大幅短縮 ・水替え工の削減及び濁水処理期間の削減が図れる。 ・濁水の処理期間の削減から、河川生態系へのダメージを軽減	SK-080001-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
143	河川海岸	その他	-	現場打笠コン	フレックス笠コンブロック	広幅鋼矢張護岸対応プレキャスト笠コンクリート	・プレキャスト製品であり工期が短縮 ・全て陸上からの施工が可能 ・低コスト化や工期短縮等により工費低減	HR-990108-V	設計比較対象技術 (H20年度～)
144	河川海岸	その他	-	堤防の浸透対策ドレーン工のコンクリート擁壁方式堤脚保護工と堤脚水路工	DRウォール	ドレーン工の排水機能を備えた堤脚保護工兼堤脚水路工	・堤体の安定を図ることが可能 ・水路工と保護工の一体化による工事費低減 ・化粧ブロックにより、美しい景観を創出できる	KT-050057-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
145	河川海岸	その他	-	鉄骨造りALC壁上屋	ひ門ハウス	樋門樋管に設置する上屋	・工期の短縮 ・重量はコンクリート製上屋の約6分の1 ・躯体の軽量化により躯体総費用の削減	KT-010009-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
146	河川海岸	その他	-	石かご	洗掘防止用アスファルトマット	捨石法先に敷設することで、洗掘孔斜面に自重と挽み性を利用し、洗掘孔の発達を抑え、砂地盤で砂の吸出しを防止する海底面被覆工	・経済性に優れた材料である ・ライフサイクルコストの低減 ・敷設が容易で、敷設回数も少なく、作業環境が改善される	SK-010001-V	H23活用促進技術
147	河川維持	沈床工	木工沈床工	木工沈床工	ナチュラルウッド	『間伐材』を活用し特別な技術も経験も不要な『簡単施工』の新・木工沈床	・現場条件(地形等)に合わせた形状に対応可能 ・階段状地盤への施工や水中(非ドライ)施工も可能 ・機械化により施工性向上、工期短縮、安全性向上が図れる	CB-980003-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
148	河川維持	沈床工	木工沈床工	木工沈床	木工沈床フリータイプ	陸部での中詰め、吊上げ、設置が可能な木工沈床	・大幅な施工性向上及び工期短縮、仮設費削減 ・品質管理、施工精度の向上 ・従来工法での4層建は本工法の3層建に該当	KK-050072-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
149	河川維持	沈床工	木工沈床工	木工沈床工	ティーキューブ	従来現場にて井桁に組み立てていた木工沈床を、完成品の枠体に代えたもの	・間伐材を利用することにより地球温暖化対策(CO2削減)や森林の広域的機能に寄与 ・完成された状態で現場へ搬入するため、作業性の向上・工期短縮・作業員の高齢化対策等に寄与。	CB-030089-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
150	河川維持	沈床工	その他	改良沈床(3層建て)	鑄田籠	鑄鉄枠を用いた根固・沈床工	・感潮域にも十分な耐食性 ・鑄鉄の為、耐久性が高く、人頭大転石に対する耐衝撃性にも優れている ・楔方式による連節の施工性の向上による大幅な工期短縮	CG-990046-V	H24活用促進技術
151	砂防工	コンクリート工	型枠工	仮設型枠工法(合板型枠・メタルフォーム)	PCF工法 PC-Ⅲ型	コンクリート構造物対応の残存軽量型枠工法	・現場廃材が減少 ・工期が短縮 ・工程の省略化により、コストメリットが向上	KT-990278-V	設計比較対象技術 (H24年度～) 少実績優良技術 (H19～24年度)
152	砂防工	現位置攪拌混合固化工法	-	機械土工、コンクリート工、型枠工、足場工	現位置攪拌混合固化工法(ISM工法)	現位置においてセメントミルクと攪拌混合し、所定の強度を有するコンクリート基礎や構造物を構築する	・残土運搬やコンクリートの搬入等の軽減と残土処分地が不要 ・現地発生した玉石や砂礫の有効利用による残土の大幅減少 ・人力作業部分の省略等により作業工程の簡素化が図れる	HR-000007-V	H24活用促進技術 少実績優良技術 (H22～24年度)
153	砂防工	水路工	-	コンクリート製プレキャストU型側溝	U字郎	高密度ポリエチレン製U字溝	・コンクリート製プレキャストU字側溝と比べて軽量。 ・ワンタッチ方式により容易に組立てが出来る。	KT-060134-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
154	砂防工	その他	-	地すべり抑止鋼管杭の溶接継手	リング継手	地すべり抑止鋼管杭のために開発された機械式継手	・杭径および肉厚に関わらず確実に施工できる ・吊り杭作業ができれば施工可能であり、天候の影響がない ・経験資格を必要としない。軽作業である	KK-980045-V	H23活用促進技術
155	舗装工	路盤工	-	丁張を用いたモータグレーダによる路盤工	三次元マシンコントロール モータグレーダ	三次元マシンコントロールシステムで自動制御するモータグレーダを用いた路盤整形作業を行う舗装工法	・モータグレーダのブレード高さ、勾配は設計データに基づき自動制御され、高精度の仕上り面が得られる。 ・自動制御のため仕上りに時間を要せず、日施工量が増加する。	HK-030023-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
156	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	不織布系クラック抑制シート	アスパワーシート	アスファルト舗装において、クラックやわだちの発生を抑制する防水機能を有したシート補強技術	・AS舗装のリフレクションクラックおよび流動わだちの抑制。 ・アスファルト層の防水機能持続が期待できる。 ・切削時に排出されるアスファルト粉は再生材として利用可。	KK-030026-V	少実績優良技術 (H22年度～)

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
157	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	グースアスファルト舗装	砕石マステックアスファルト舗装	粒径2mm以上の骨材が70～80%、フィラー分が8～13%を占める砕石マステックアスファルト舗装	・混合物特性により、通常のアスファルト舗装の施工機械で舗設が可能となり、工程的・経済的にも大きな効果を発揮する。 ・防水性やたわみ性の他に耐流動性、耐摩耗性、すべり抵抗性、リフレクションクック抑制効果等の機能が付加されることで、品質が向上する。	KT-990564-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
158	舗装工	アスファルト舗装工	排水性舗装工	基層を含めた二層を構築する排水性舗装	遮水型排水性舗装(POSMAC)	排水・遮水機能を両立させたポーラス舗装	・2層構築から1層で構築となり、大幅なコスト削減 ・1層構築であるため、施工厚や切削厚が少なくなる ・1層で構築するので施工時間が短縮される	KT-040084-V	少実績優良技術 (H21年度～)
159	舗装工	コンクリート舗装工	その他	型枠工法(コンクリート舗装)	スリップフォーム工法	型枠不要のコンクリート連続打設工法	・型枠工不要による省力化 ・高い施工能力による工期短縮 ・型枠を使用しないことによる省資源化	QS-980058-V	H22活用促進技術
160	舗装工	特殊舗装工	特殊舗装工	電熱式ロードヒーティング	凍結抑制舗装・ザベック工法タイプG	物理・化学系凍結抑制舗装	・走行車両の積すべり防止、スピードを抑制させる効果がある ・シャーベット状となり、除雪作業が容易になる ・凍結防止剤にCMAを使用しており、周辺環境への影響が低減	KT-990566-V	少実績優良技術 (H23年度～)
161	舗装工	薄層カラー舗装工	薄層カラー舗装工	薄層カラー舗装工(樹脂系すべり止め舗装)	ミストグリップ	路面に塗料を塗布することにより、視認性が向上し、車両及び歩行者及び自転車等の交通を円滑に誘導することが出来る	・舗装の排水機能を損なわず雨水が漏水し滞留しない ・舗装の凸凹形状をそのまま残し、舗装に近いすべり抵抗値が得られる ・速乾性であり養生時間が短く、車両交通開放時間が短縮される	KT-010117-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
162	舗装工	薄層カラー舗装工	薄層カラー舗装工	アクリルエマルジョン系常温薄層カラー舗装	ニューカラーコート・E、P、F、G	歩道、自転車道、駐車場等の舗装表面を、水性塗材を常温で塗布または散布することによりカラー化する技術	・車輛乗入部等にも適用でき、耐用年数も延びる ・施工時間が短縮(施工性が改善)、早期の交通開放、歩行可能 ・路面温度の上昇が抑制され、利用者環境が改善される	SK-050017-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
163	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工	落石防止壁	イージーネット工法	落石エネルギーE=200KJまで対応可能な耐衝撃性に優れ軽量で安価なポリエチレン製ネット同等品以上の素材を用いた簡易型落石防護柵	・軽量でシンプルであるため、施工性が良く、高所での材料運搬以外は、材料運搬も含め全て人力施工で可能である。 ・設置条件に応じ、3タイプの選択ができる。	HR-050024-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
164	付属施設	防護柵設置工	ガードレール設置工	防護柵支柱の打撃工法	防護柵支柱の低騒音・低振動回転圧入工法	支柱先端に加工を施し、専用マシンで回転圧入する、低騒音・低振動の防護柵支柱設置工法	・低騒音・低振動で設置 ・沿道住民の生活環境への負担が軽減 ・作業員の労働環境も向上する	HR-050020-V	少実績優良技術 (H19年度～)
165	付属施設	防護柵設置工	ガードレール設置工	現場打ちガードレール基礎	プレガードⅡ	ガードレールに自動車衝突時に発生する衝撃力を分散させて擁壁に伝達させることにより、擁壁が衝撃力で破損させられるのを防ぐ技術	・工場製品のため品質・強度が均一化され、据付・調整のみで熟練作業が減り、現場打ちに必要な関連工程(打設、養生、型枠・支保等)を省略でき施工性が向上する。	SK-060003-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
166	付属施設	防護柵設置工	ガードレール設置工	場所打ち防護柵基礎	Gベース	たわみ性防護柵の基礎ブロック	・製品相互は、高カボルトもしくは連結プレートにて緊結・一体化したオールプレキャスト工法 ・擁壁前面に足場工設置を必要としない。 ・擁壁に車両衝突時の水平力の影響を与えないため、下部構造物上に直接設置が可能	HR-050011-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
167	付属施設	防護柵設置工	雪崩発生予防策設置工	吊式雪崩予防柵	スノテップ	小段付法面雪崩予防工	・施工性、経済性の向上 ・雪庇が出来にくいため維持管理費の削減 ・安心感、景観の向上	HK-040009-V	少実績優良技術 (H20年度～)
168	付属施設	遮音壁設置	-	鋼製低層遮音壁+植栽柵	プレキャスト低層遮音壁「美サイレント」	植栽柵付低層遮音壁(本体上部に容易に透光板が設置可能)	・遮音壁と植栽柵の一体化による施工性と経済性の改善 ・壁上部の透光板により遮音効果の大幅アップ ・コンクリートの石模様により、周辺景観との調和を図る	KK-050075-V	少実績優良技術 (H20年度～)
169	付属施設	橋梁付防護柵設置工	高欄設置工	地覆新規やり替え式標準型防護柵	鉄筋損傷防止型防護柵	橋梁の既設防護柵を取り替え時に地覆鉄筋を切断する等の損傷する事無く、アンカーボルト及び防護柵の設置が出来る	・既設の地覆コンクリートを取り壊さず防護柵の取替え作業可能 ・短工期で取替えが出来るので、大幅な経費削減が可能 ・地覆鉄筋を切断せず、アンカーボルト及び防護柵が設置可能	QS-080003-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
170	付属施設	トンネル内装板設置工	-	タイルパネル工法	大型セラミック板直張工法(セラネルライト内装工)	トンネル内の視線誘導、視認性、美観の向上及びトンネル照明効果の向上を目的とし、トンネル内壁部に大型セラミック板を主体とする内装板を施工するもの	・表面が硬く平滑で落書きも消しやすく、目地比率も非常に小さいため、洗浄回復性に優れる ・コンクリート面に全面接着するもので、施工速度に優れる ・重量が軽く取付方法も簡単に工期短縮に貢献する	HR-010004-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
171	付属施設	道路付附属工	-	マンホール蓋高調整工法	道路舗装人孔鉄蓋後付工法「エポ工法」	舗装工事において、事前に人孔上部を撤去しておくことにより、各種作業が支障なく行える工法	・段差がないためにスムーズな交通と安全が図れる ・耐久性の向上	CB-980048-V	少実績優良技術 (H21年度～)
172	付属施設	道路付附属工	-	中央分離帯、センターポール、道路紙(チャッターバー)	ランブルストリップス(センターライン対応型)	警告型切削溝による正面衝突事故対策	・設置費用が安く、施工期間が短い ・車線逸脱警告効果がある ・除雪作業の支障とならない	HK-030032-V	H21推奨技術 設計比較対象技術 (H19年度～)
173	付属施設	道路付附属工	-	舗装を四角に垂直切断する工法	パラボラ工法	マンホール鉄蓋維持修繕工法	・既設路面とのずれが発生しない ・施工箇所の耐久力が伸びる ・交通規制範囲の縮小が図れる	HR-030008-A	H19準推奨技術
174	付属施設	道路付附属工	-	4点ボルト固定工法	グレーチングストッパー S P	既設/新設の細目(並目)グレーチングの、跳ね上がり・浮き上がり・騒音発生を防止する後付けの金具。	・既設グレーチングのリユースによる、コスト削減や塵芥発生抑制 ・短時間施工により、交通規制の減少や管理作業の向上 ・ステンレス製により、十分な防錆対策と長期耐久性がある	HR-050026-V	H24推奨 設計比較対象技術 (H22年度～)

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
175	付属施設	道路付属物 工	-	自発光式視線誘導 標	ソーラー式視線誘導標サーモアイ	太陽電池とLED、電気二重層コンデンサを使用したソーラー式視線誘導標	・単結晶型太陽電池の使用により、曇天や雨天時など日照条件が悪い場合でも充電可能 ・蓄電部に長期に渡り交換不要な電気二重層コンデンサを使用	TH-050019-V	少実績優良技術 (H21年度～)
176	付属施設	道路付属物 工	-	商用電源による電球 式プリンカーライト	プリンカーフラッシュ	道路の中央分離帯ノーズ及び分岐点ノーズ先端への車面衝突防 止用警告表示灯であるプリンカーライトにおいて電源を太陽電池から の電力で24時間動作可能	・太陽電池使用で電気工事が不要な24時間発光タイプ ・発光体に長寿命であるLEDを使用、玉切れがの心配がない。 ・特殊な光学レンズを使用して電球に匹敵する明るさを実現。	KK-040010-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
177	道路維持修 繕工	路面切削工	路面切削工	舗装版カッター切り+ はつり工(手はつり)	排水性舗装用溝切り工法	コンパクトでパワフルな専用切削機を使用した溝切り工法	・大幅な工期短縮、工事原価の削減となり、仕上がりが良い ・溝形成の精度が手はつりに比べ飛躍的に向上し、排水機能の安定的な確保にもつながる ・産廃処理の低減が図られ、安価で資源の有効利用にも寄与	SK-020015-V	H23推奨技術 設計比較対象技術 (H23年度～)
178	道路維持修 繕工	路面切削工	切削オーバー レイ工	レベルと巻尺による 横断測量	道路縦横断計測システム ROPO (ロボ)	切削オーバーレイの施工前に実施する縦横断測量におい て路面の形状を測定する技術	・規制のための手続きや準備や規制費用が不要 ・規制に伴う危険性が軽減 ・交通渋滞・近隣への不自由を与えずに計測することが可能	KT-050111-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
179	道路維持修 繕工	道路打換え 工	-	通常舗装(上層路盤+ 基層+中間層)	QRP工法 (QUICK REPAIR PAVEMENT急速舗装修繕工法)	QRP工法用大粒径混合物	・施工時間短縮 ・交通規制に伴う渋滞が緩和 ・工費が少なく施工の合理化、省力化が可能	CG-990019-V	設計比較対象技術 (H19年度～)
180	道路維持修 繕工	橋梁補修補 強工	断面修復工	ポリマーセメントモル タルによる湿式吹付 け工法	TDRショット	断面修復用湿式吹付け工法	・吹付け効率の向上により工期短縮が可能 ・吹付け効率の向上によりコスト削減が可能 ・耐久性能が向上	KT-050010-V	少実績優良技術 (H19年度～)
181	道路維持修 繕工	橋梁補修補 強工	表面保護工	表面被覆工法(溶剤 型コンクリート長期耐 久性塗装システム)	無溶剤タイプジェル状シラン系表面含 浸材	コンクリート構造物等の塩害、凍害、アルカリ骨材反応な どによる劣化を防止・抑制する技術。	・材料費が低減しコストメリットが向上する ・施工工費が少なく、施工費が低減しコストメリットが向上する ・環境負荷が軽減でき、かつコスト削減が図られる	KT-070047-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
182	道路維持修 繕工	橋梁補修補 強工	表面保護工	はつり工+モルタル 復旧工	タフガードQ-R工法	コンクリート防食性能はもとより、はく落防止性能をも付 した省工費・短工期・低コスト型のコーティング工法	・強靱な材料で覆うことで、劣化コンクリートがはく離落下するのを防止し、はく落対策工事回数を減らしコスト削減が期待できる。 ・実形適従性に優れた中塗り特性であり、日常の目視点検による劣化箇所(剥れている)はく落していないの検知が可能となる。	KK-040054-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
183	道路維持修 繕工	橋梁補修補 強工	表面保護工	エポキシ樹脂系など の表面被覆工法(有 機溶剤系塗料)	高分子系浸透性防水材 アイゾールEX	撥水効果・コンクリートの表面改質効果を併せ持つ表面被 覆材(浸透性を有する水性一液型塗料)	・コンクリート構造物の耐久性向上(施工不良の低減、多成分ブレンドにより各性能が向上) ・経済性(コスト、工期)の向上	CB-030003-V	H24推奨技術 設計比較対象技術 (H23年度～)
184	道路維持修 繕工	橋梁補修補 強工	新素材繊維 接着工	鋼板接着工法	フォルカトウシート工法	連続繊維シートによるコンクリート構造物の補修・補強工 法	・軽量で薄く、手作業のみで施工でき、重機が不要 ・施工条件の制約を受けにくい ・耐食性、耐薬品性に問題がなく、塩害対策にも有効	QS-990014-V	設計比較対象技術 (H20年度～)
185	道路維持修 繕工	橋梁補修補 強工	新素材繊維 接着工	ガラスクロス接着工 法	ショーボンドハイブリッドシート工法	特殊ラミネートシートを現場で一層貼り付ける工法	・施工性向上と作業工程減少による工期短縮とコスト削減 ・工場製品のシートを使用することで安定した品質を確保 ・高所作業車による機械足場上での作業に最適	TH-010017-V	設計比較対象技術 (H21年度～)
186	道路維持修 繕工	橋梁補修補 強工	鋼板巻立て 工	フーチング施工増し 杭による施工	Kui Taishin-SSP工法	パイルベント橋脚の耐震補強	・量額を損ねない ・河積阻害率が小さい ・施工性が良い	KT-000101-V	H21推奨技術 少実績優良技術 (H20年度～)
187	道路維持修 繕工	橋梁補修補 強工	RC巻立て工 法	・RC巻立て工法 ・鋼板巻立て工法	PCコンファインド工法	PC鋼材を巻き付けて補強する既設RC橋脚の耐震補強工 法	・高強度PC鋼材を用いる事による補強鋼材量の低減 ・プレストレス導入のため、新旧コンクリートがより一体化 ・水中施工法では、大規模な仮締め切りが不要	QS-980057-V	H22活用促進技術
188	道路維持修 繕工	橋梁補修補 強工	上・下面増厚 工	鋼板接着工法	FRPグリッド増厚・巻立て工法	補強材であるFRPグリッドを、ポリマーセメントモルタルを 使用して既設コンクリート構造物と一体化し補修・補強す る技術	・塩害、中性化による補強材の腐食がない ・軽量であるために、取付け作業が容易 ・仕上り面がコンクリート表面と同等であるため、施工後の変状等の確認が容易	CG-000009-V	少実績優良技術 (H21年度～)
189	道路維持修 繕工	橋梁補修補 強工	防食対策工	断面修復工法	チタングリッド工法	コンクリート中にある鋼材の腐食を抑制する技術	・塩分を含むコンクリートを除去する必要がなくなった ・死荷重の増加がきわめて小さくなった ・40年以上の耐久性が得られた	KT-040042-V	少実績優良技術 (H22年度～)
190	道路維持修 繕工	橋梁補修補 強工	支承取替工	主桁付きブラケット 工法	トルクアップ	油圧不要のジャッキシステム(トルクアップ)による狭隙空 間での支承取替	・狭隙部での施工にも対応可能である ・施工スペースが広くとれる ・コストの削減、工期の短縮が図られる	KK-010051-V	少実績優良技術 (H19年度～)
191	道路維持修 繕工	橋梁補修補 強工	その他	橋梁用伸縮装置の 取替え	ドーロガード伸縮装置嵩上げ工法	橋梁の床版上面増厚工において、橋梁用伸縮装置上にメ タクリル樹脂モルタルを打設し嵩上げる工法	・コンクリートの取り直し工程が省略でき、騒音の発生が低減 ・施工時間が短い工程のため、施工時間の短縮が可能 ・橋梁用伸縮装置は既設のものを使用できるため、コストの削減が可能	KK-980028-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
192	道路維持修 繕工	道路除草工	防草工	道路除草工(2回/ 年、10年)	強壮雑草抑止用防草シート「チガヤ シート」	強壮雑草を完全抑止できる防草シート	・雑草を生やさない状態に維持 ・害虫発生の防止や、ゴミのポイ捨ての抑制効果 ・草刈の都度排出される雑草(一般廃棄物)の削減	CB-010039-V	設計比較対象技術 (H21年度～)
193	道路維持修 繕工	道路除草工	防草工	除草工(根抜き、年2 回、5年分)	目地防草用資材「目地バリシート」	舗装とブロックの目地から発生する雑草を防除する、目地 防草資材	・防草シートの効果により、雑草を生やさない状態に維持。 ・草刈の都度排出される雑草(一般廃棄物)の削減。 ・除草の際、交通規制の回数を削減。	CB-060034-V	設計比較対象技術 (H23年度～)

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
194	道路維持修繕工	道路除草工	防草工	道路除草工	防草材 ポーソーシールT(新設・打換え工事用)・ポーソーシールTO(天端貼付タイプ)・Hタイプ(加断注入タイプ)	舗装を雑草から守る継目用成形接合材・継目用充填接合材	・雑草の根による舗装の破壊を防ぐ。 ・雑草の除去作業の削減により、維持管理費が低減	QS-98023-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
195	道路維持修繕工	トンネル補修補強工	その他	ウォータージェット工法	バキュームブラスト工法	トンネルや橋梁等の補修・補強工事において、コンクリート劣化部や鋼構造物の錆や旧塗膜等を、研削材及び粉塵を飛散させずに下地処理する事が可能	・劣化モルタルには排ガス由来の重金属が完全回収 ・研削材リサイクルにより、産業廃棄物の処分量が少なくなることが可能 ・躯体形状に合わせ作業ができ、処理面を必要以上に痛めず作業可能	CB-050049-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
196	道路維持修繕工	トンネル補修補強工	その他	はつり落し+断面修復	FORCA(フォルカト)ウメッシュ工法	コンクリート構造物において、ガラスクロス連続繊維FRP格子筋(ウメッシュ)を用いてコンクリート塊の剥落を防止する技術	・従来の工法と比べてコスト低減が可能 ・漏水や結露のある湿潤面でも施工可能 ・工期の短縮が可能で、夜間の短時間施工などに最適	KK-060042-V	少実績優良技術 (H22年度～)
197	道路維持修繕工	路面補修工	欠損部補修工	アスファルト加熱混合物による補修	簡易舗装表面補修材「Uコート」	短期施工と耐久性を両立させた簡易補修材	・耐久性が高い簡易補修の実現が可能 ・工事時間の短縮が可能 ・低価格化が可能	KK-060001-V	少実績優良技術 (H20年度～)
198	道路維持修繕工	路面補修工	欠損部補修工	常温アスファルト合材(カットバックアスファルト系)による欠損部補修工	YKパック	アスファルト道路に突然発生するポットホールについて、見つけたその場で即時に穴埋めする材料	・作業車や保管庫に臭気が発生させず作業員の手足や衣服も汚れにくくなる ・施工中や施工直後に雨が降っても、油膜の流出がない ・従来技術に見られる硬化による材料ロスがなくなる	KK-050053-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
199	道路維持修繕工	横断歩道橋補修工	-	タールエポキシ樹脂塗料	紫外線硬化型ガラス繊維強化プラスチックシートによる照明柱根元防食及び道路構造物腐食部補修	ウルトラパッチによる腐食部補修及び防食処理	・専門工不要(誰にでも簡単施工) ・施工時間の短縮(貼付から硬化まで30分～1時間) ・雨水汚染しない	CB-990022-V	H22活用促進技術
200	道路維持修繕工	その他	-	切削ビットで塗膜表面を砕いた後、カハナーで表面を加熱しながらテフロンで仕上げ	排水性舗装用区線線消去工法「Jリムーバー」	超高压水表面処理工法	・消去スピードが速く、交通渋滞時間の短縮と緩和 ・防音型装置による夜間施工の機械騒音苦情の改善 ・建設工事による発生産業廃棄物の削減	CB-000013-V	H23活用促進技術
201	道路維持修繕工	その他	-	4点ボルト固定式グレーチングへの取換	Gガード	既設のグレーチングに短時間で簡単に取り付けられる、跳ね上げ防止金具	・既設グレーチングを利用した製品 ・ボルトによる固定ではなく、跳ね上げ防止金具による圧着構造 ・ゆるみ止めナットを採用	KK-040026-V	設計比較対象技術 (H21年度～)
202	道路維持修繕工	その他	-	塗装差替(タールエポキシ5回塗り)	重防食根巻積層嵩上補修工法	維持管理の徹底とコスト削減	・安全性の向上と供用寿命の延命を実現 ・連続作業により施工時間短縮 ・交通規制期間が短くなる	KK-990010-V	少実績優良技術 (H19年度～)
203	道路維持修繕工	その他	-	4点ボルト固定式グレーチングの取替え	アマグレフィット、アマグレピット	グレーチングに特殊金具を取付ける跳ね上がり防止機能	・グレーチングの跳ね上がり防止、騒音防止 ・グレーチング本体に不必要な開口部を設けない ・コンクリートの養生期間のための長期間の交通規制が不要	QS-030011-V	設計比較対象技術 (H21年度～)
204	道路維持修繕工	その他	-	現場打ち側溝蓋	スチール透水蓋工法	排水性舗装におけるスチール透水蓋を用いた側溝改造工法	・従来工事の1/4程度に工期を短縮 ・早期解放による乗り入れ制限等の改善 ・施工方法の単純化等により施工の安全性向上	QS-030044-V	設計比較対象技術 (H20年度～)
205	道路維持修繕工	その他	-	ボルト固定式グレーチング取替え	グレーチングホルダー	溝内壁部にアタッチメントを取り付け、既設のグレーチングを固定する専用金具	・既設グレーチングの蓋・受枠を取替えず、コストの削減が図れる。 ・普通目タイプ、細目タイプがあり、グレーチング全般に対応可能。	CB-050039-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
206	道路維持修繕工	その他	道路側溝上部人力修繕工事(現場打側溝打換え)	道路側溝上部人力修繕工事(現場打側溝打換え)	ネプラス工法	傷部の側溝上部を上部を切り鉄製の枠で補修する技術	・側溝内部より切断することで掘削作業を伴わないため残土が発生しない。 ・隣接している構造物等にも全く影響しない。 ・1日8m～15mの(条件により変動あり)施工が可能で即日開放できる。	HR-060021-V	H24活用促進技術
207	共同溝工	電線共同溝工	-	難燃性波打硬質合成樹脂管	角型直接段積電線管 角型TACレックス	多条配管用 角型直接段積み管管材により省施工	・管台が不要でコンパクトでスピーディに多条配管が可能 ・埋め戻しが容易でかつ上下左右の曲り配管が容易 ・耐圧強度、難燃性、施工性、耐震性に優れている	KK-980008-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
208	共同溝工	電線共同溝工	-	1管1条およびフリーアクセス単管方式	電線共同溝(通信系)共用FA方式	電線共同溝(通信系)共用フリーアクセス方式	・従来方式の適用できない狭幅員の歩道や歩道の無い狭隘道路の架空線等の地中化事業が低コストで実施可能となった ・コストが削減出来、地中化促進が図られる	KT-060078-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
209	共同溝工	電線共同溝工	-	既設情報管路用耐火防護工法	橋梁添架情報管路の耐火措置(金属ダクト方式)	ステンレス製ダクトの内側に、貼り付けた無機繊維複合セラミック板がダクト内に配管される情報管路を野火や火災から守る	・耐火防護と配管敷設を同時に可能で施工期間の短縮が可能 ・耐火材は、1000℃の耐火性を備えている ・施工者による施工のバラツキがなく現場での工期を短縮可能	QS-000018-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
210	共同溝工	電線共同溝工	普通モルタルの手作業での充填施工工法	普通モルタルの手作業での充填施工工法	情報BOX用鉄蓋のハイジャスター工法	鉄蓋を設置する際、受枠変形防止性能をもつ高さ調整用部品で路面との高さ調整を行う技術	・受枠とボックスをボルト・ナットで強く固定できる為、受枠ごとのがたつきを防止できる ・鉄蓋と路面の高さが面一に出来る。 ・嵩上げ工事の簡素化され、早期の道路解放が図れる。	QS-020007-V	H23活用促進技術
211	トンネル工	トンネル工(NATM)	覆土工	人力によるパイプレタ締固め	高品質トンネル覆工天端部締固めシステム	トンネル二次覆工の天端部コンクリートに対して、専用パイプレタにより締固める技術	・天端部の締固めにより、耐久性が向上し、トンネルの維持・補修費の低減が図れる ・狭隘な箇所での作業の低減が図れる	TS-030008-V	H23活用促進技術
212	トンネル工	アーチカルパート工	-	場所打ちカルバート、短スパン橋梁	テクスパン工法	3点ヒンジ構造によるプレキャスト・アーチカルパート工法	・大幅な工期短縮が図れる ・アーチ形状とアーチ部材断面から、経済的に優れる ・工場製作2次製品のため、信頼性に優れる	CB-980117-V	設計比較対象技術 (H20年度～)

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
213	トンネル工	アーチカル パート工	-	現場打ちボックスカ ルパート	モジュラーチ工法	ヒンジ式プレキャストアーチカルパート	・工期短縮と省力・省人化・工費節減が図れる ・コンクリート二次製品であり品質が安定 ・アーチ形状のため景観と調和し易い	TH-980002-V	設計比較対象技術 (H19年度～)
214	トンネル工	その他	-	端子台接続工法	トンネル照明用防水接続コネクタ	トンネル用照明器具とケーブルを接続する防水コネクタ 技術。	・コネクタ化により施工時間の大幅な短縮が可能(施工費用のコストダウン) ・コネクタ化により品質の安定が見込まれる。 ・ケーブルの芯数が4芯以下であり、導体サイズが2SQ及び3.5SQに限定	CB-050057-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
215	橋梁上部工	鋼橋製作工	-	仮組立ならびに仮組 立検査	CATS	仮組立作業ならびに仮組立検査を部材計測とコンピュータ を用いての机上による仮組立シミュレーションをするシス テム	・シミュレーションで仮組立ての時間を省略化 ・仮組立て作業が不要になることにより、安全性が向上 ・シミュレーション結果を実際の組立に有効情報として提供可能	CB-010018-V	H24準推奨技術 設計比較対象技術 (H23年度～)
216	橋梁上部工	鋼橋製作工	-	PC桁橋(支間長30m 以下)	パネルHBB(パネル・Hビーム・ブリッジ)	支間長40m程度までの中小規模橋梁を対象とした橋梁製 品	・大幅な工期の短縮が可能 ・短期間に桁架設を完了することが出来る ・施工が簡単で安定した品質が得られる	HR-030028-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
217	橋梁上部工	鋼橋製作工	-	仮組立工法	鋼橋仮組立代替工法 pbfantom(ピー ビーファントム)	鋼橋部材の3次元形状の自動計測を行い、コンピュータ上 で3次的に組立シミュレーションを行い部材の後加工エ ータ及び出来形帳票を提供	・鋼橋製作工事における仮組立作業の省力化による工事費縮減 ・大規模仮組立ヤードが不要で小規模工場でも大型橋梁を製造可能。	QS-070014-V	H24準推奨技術 設計比較対象技術 (H23年度～)
218	橋梁上部工	鋼橋架設工	落橋防止装 置取付工	落橋防止装置(PC ケーブル工法)	緩衝機能を有する桁間連結工法	落橋防止構造並びに変位制限構造において、緩衝機能を 有するなど要求性能を満足したピン連結方式の落橋防止 装置を用いる耐震補強技術	・落橋防止装置に緩衝機能を付加し、橋軸直角方向への移動追従要件を満たす ・コスト削減と施工性の向上が期待できる ・土工事や舗装工事の工程が不要なので工程短縮が期待できる	KK-980043-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
219	橋梁上部工	鋼橋架設工	落橋防止装 置取付工	落橋防止構造と変位 制限構造	タイブリッジシステム	橋梁上部工の落橋防止装置で、一つの構造で2つの機能 (落橋防止機能と変位制限機能)を有する新システム	・大きなエネルギー吸収性能で橋梁上部工へ働く地震力を緩和 ・支保周辺の維持管理が容易で省力化と経済性を発揮できる ・下部工側の編工、緩衝具を無くし、コンパクト化を実現した	KT-000093-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
220	橋梁上部工	鋼橋床版工	-	鋼製型枠壁高欄	PCF壁高欄工法(VFRCタイプ)	あらかじめ工場にて製作したPCF版を埋設型枠として壁高欄の外側 に設置し、場所打ちコンクリートを打設して壁高欄を形成する壁高 欄工法	・高架下の安全性や高所作業の安全性の確保が可能。 ・コンクリートの収縮ひび割れを自地の位置に誘発可能。 ・デザイン性に富む壁高欄の製作が可能。	CB-050024-V	少量精良技術 (H22年度～)
221	橋梁上部工	鋼橋床版工	-	RC床版	鋼合成サンドイッチパネル	ハーフプレハブ化した鋼・コンクリート合成サンドイッチ床 版	・現場作業の合理化による工期短縮 ・型枠や支保工不要による省資源化 ・軽量化による下部構造や落橋防止装置等の小型化	TH-020041-V	H22活用促進技術
222	橋梁上部工	鋼橋床版工	-	RC床版	TTM床版	床版をユニット化した技術	・無足場施工が行える為、約4.61%コスト削減となる	KT-050004-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
223	橋梁上部工	鋼橋床版工	-	PC床版	SCデッキ(鋼・コンクリート合成床版)	鋼橋の床版について、鋼板パネルと鉄筋コンクリートとを 合成構造とした床版工で、長支間の床版にも適用可能と した技術	・PC床版と同程度の耐荷力および耐久性を有する ・工期短縮および安全な施工が期待できる ・コンクリートの抜け落ち防止に効果的である	KT-990362-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
224	橋梁上部工	PC橋架設工	-	ポストテンション方式 単純T1げた橋	PCコンボ橋	主げたをプレキャストセグメント工法で製作し、床版はプレ キャストPC板と場所打ち床版のPC合成床版とした合上げ た橋	・主げたの少数化が可能 ・プレキャスト化による省人化や工期短縮 ・周辺環境への騒音・振動の抑制	SK-980027-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
225	橋梁上部工	橋梁用伸縮 継手装置設 置工	-	弾性シール材充填 工法	プレスアドラー	伸縮装置内に乾式止水材を圧縮挿入固定し、橋面上の雨 水排水等を支保部や橋台部に落とさないようにする技術	・交通規制が不要となった どの時期に施工を行っても引張りがかかることはない ・最大道間2000mmにまで対応可能である	KK-020026-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
226	橋梁上部工	橋梁用伸縮 継手装置設 置工	-	弾性シール材充填 工事(新設工事)	フィンガージョイント用大型乾式止水材	高架橋のフィンガージョイント、特に多径間化や免震化に よって大型化した道間に対し、止水機能を提供する技術	・大型フィンガージョイント止水工事に関し、コストが21%低減 ・新設施工時間が1日で完成でき、50%低減 ・塵埃など産業廃棄物の発生がほとんど0	KK-050116-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
227	橋梁上部工	橋梁排水管 設置工	-	橋梁排水管設置工 (鋼管)	高気密ステンレス排水管	橋梁用の排水管に新開発のステンレス特殊スパイラル管 を用いた技術	・軽量のため材料、施工、運搬面でのコスト削減が期待できる ・ステンレス材を使用しているため、ロングライフ化が期待できる ・リサイクル性の高い製品	CB-980013-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
228	橋梁上部工	その他	-	はけ塗り	高塗着スプレー塗装	高塗着スプレー塗装による防錆塗装工事	・塗膜の厚膜が可能となり、耐久性が向上 ・生産性の向上により、塗着コストが低下 ・周辺環境への塗着時の影響が小さくできる	HR-050017-V	H23活用促進技術
229	橋梁上部工	その他	-	段取筋を配置して鉄 筋を溶接する方法	コン天棒	橋梁の床版コンクリート打設時に、天端の位置標示に必 要な部材を製品化	・設置に熟練工は必要なく、普通作業員で可能 ・作業時間が短縮でき、悪天候時の作業の遅れの心配も軽減 ・視認性がよく、作業員が接触しても安全	KK-000005-V	設計比較対象技術 (H22年度～)
230	橋梁上部工	その他	-	橋脚の鉄筋コンク リート巻立て工法(河 川橋:9径間連結鉄桁 9×33m)	BM-Sダンパー	上部構造と下部構造との間に取付けることにより、BM-S の機能時に橋全体の減衰性能が向上	・ダンパー機能により橋の減衰性能を向上 ・コストを削減することができる ・橋全体の安全性が高く、かつ性能の信頼性が高い	QS-060010-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
231	公園	公園工	-	インターロッキングブ ロック舗装(透水)	土路コン 景観土舗装	一般の生コン工場で作成される品質偏差が少ない、 ソフトかつ耐久性の高い土系舗装(改良土舗装)	・生コン工場を利用し正確な配合と十分な混練で品質が向上 ・保水性による表面温度の上昇抑制 ・植物が発芽・生育しにくく、ホコリ・雨の日のぬかるみが少ない	QS-070010-V	設計比較対象技術 (H22年度～)

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
232	シールド	シールド掘進工	泥土加圧式	立坑を必要とするシールド工法	URUP工法	地上発進・到達シールドによるアンダーパスの急速施工法	・工期短縮 ・工事による二次的な渋滞を最小限に抑制 ・騒音、振動を低減し建設発生土も抑制	KK-050117-A	H19年推奨技術
233	推進工	小口径推進工	-	オーガ掘削推進工法	アーバンノーディグ工法	電磁誘導システムを用い地上から方向制御することにより掘削を進めるシステム	・施工コストの低減 ・施工工期の短縮 ・カーブ推進が可能	QS-010005-V	少実績優良技術 (H21年度～)
234	推進工	小口径推進工	-	小口径推進工	テラ・ジェット工法	パイプ、ケーブル等を先行掘削、掘孔、管材引き込みの3工程を行い、非開削にて埋設する工法	・機械を地上に設置するため立坑内での作業が少なく安全 ・立坑築造に係る大幅な工期の短縮が可能	QS-990013-V	H22年推奨技術 設計比較対象技術 (H21年度～)
235	上下水道工	維持管理	-	開削工法	オメガライナー工法	既設管渠を非開削で改築・修繕する工法。(強度回復、止水、取付管補強、流下機能回復)	・交通規制等の周辺環境への影響が小さい ・施工現場で化学反応(=硬化)不要。品質安定性が向上 ・長期性能(耐食性・耐摩耗性)に優れ、耐震性も付与できる	KT-050096-V	H24年推奨技術 設計比較対象技術 (H23年度～)
236	上下水道工	維持管理	-	開削工法によるヒューム管を用いた布設替え	SPR工法	既設管渠を非開削で改築・修繕する工法。(強度回復、止水、流下機能回復)	・交通規制等の周辺環境への影響が小さい ・施工現場で化学反応(=硬化)不要。品質安定性が向上 ・長期性能(耐食性・耐摩耗性)に優れ、耐震性も付与できる	KT-990074-V	H24推奨 設計比較対象技術 (H23年度～)
237	上下水道工	維持管理	-	開削工法(下水道の切り直し、既設管の撤去工を除く直接工事費、呼び径1000)	ダンビー工法	下水道や農業用水、樋門等の損傷・老朽化した管きよを非開削で更生する工法	・非開削のため、周辺環境への影響を抑制できる ・コストの削減と廃棄物の発生をなくすることができる ・更生後の耐久年数が増す	KT-990220-V	H24推奨 設計比較対象技術 (H23年度～)
238	上下水道工	維持管理	-	ヒューム管の改修工事(掘削工および土留め工含む)	パルテムSZ工法	下水道管渠を非掘削で新管と同様の性能を有するFRPパイプを形成し、老朽管を更生する工法	・道路を遮断しなくてよい ・管路の機能回復が可能である ・既設管路の寿命を延長できる	SK-000010-V	H24年推奨技術 設計比較対象技術 (H23年度～)
239	機械設備	水門設備	共通	樋門樋管用ローラゲート	オーバーリンクゲート	門柱レス化を図ったリンク機構引上げ式のゲート	・門柱レスによる効果(門柱による流下阻害、操作時の安全性) ・ゲート開閉(フラップ開放機能)の信頼性が向上	TH-010004-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
240	機械設備	水門設備	河川用水門設備	引上式ゲートで目視判断し人為的な開閉操作で対応	オートゲート(門柱レス樋門)	無動力自動開閉ゲート	・門柱及び管理構が不要 ・水位の変動に合わせて自動的に開閉する ・電気等の動力源が確保できない場所にも設置できる	TH-990145-V	H23推奨技術 設計比較対象技術 (H23年度～)
241	機械設備	水門設備	河川用水門設備	昇降式水門設備(招扉併設)(電動ローラゲートフラップゲート)	オートフラップゲート(Auto Flap Gate)	水門、樋門のゲート設備を自動化する技術	・内水氾濫の危険性を低下させる ・設備運用の確実性、安全性の向上が図れる ・ゲート開閉作動機構および構造が単純、かつ堅牢であり、設備の長期耐久性を確保している	QS-000020-V	H24年推奨技術 設計比較対象技術 (H23年度～)
242	機械設備	ポンプ設備	揚排水ポンプ設備	吸音型消音器	全開口形消音器	機械室の換気口からの騒音を音の特性(共鳴・膨張・干渉)で消音する消音器	・耐震設計が容易のため、建設費を減額 ・契約電力料金を減額し、ランニングコストを低減 ・低周波帯域の消音力の増大し、騒音公害防止効果を向上	QS-060014-V	少実績優良技術 (H22年度～)
243	建築	耐震・免震・制震工事	-	鋼板巻き立て工法	SR-CF工法	コンクリート系構造物の耐震補強工法	・施工性が良い。 ・施工性および安全性に優れる。 ・騒音、粉塵、振動の発生が少なく、施工環境を改善。	KT-010053-V	少実績優良技術 (H22年度～)
244	建築設備(電気)	通信・情報設備工事	-	セラミック耐火防護シート	吸熱パック耐火防護シート	情報ボックス用耐火防護材	・水の気化熱を利用して耐火防護シートの薄肉化を実現 ・耐火断熱性能の大幅な向上 ・新発想の耐火防護シート	TH-020036-V	H22活用促進技術
245	環境対策工	振動防止対策工	-	粉体噴射攪拌工(DJM工法)による防振壁	制振ソルパック工法	土のう積層体による制振工法	・道路、鉄道、工場の振動対策など、適用範囲が広い。 ・人間の体感レベルでの振動低減効果が大きい。 ・振動レベルで5～10dB程度の振動低減効果が期待できる。	CB-050035-V	少実績優良技術 (H22年度～)
246	環境対策工	水質保全工	-	現場打ちの分離柵	save	路面排水を比重分離により処理することにより、周辺環境の負荷低減・改善を図るもの	・現場打りに比べ、コストの削減と大幅な工期の短縮が可能 ・安全性の向上(施工は製品の据付のみになる) ・出来形の安定(熟練工への依存度が少ない)	KK-040029-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
247	環境対策工	水質保全工	-	凝集剤注入設備	無機系調合型固形凝集剤	機械や電気が不要で濁水に直接使用でき、種々の汚濁因子にも総合的に備えた無機系調合型の固形凝集剤。	・高濁度から低濁度までの凝集沈降を促進し、即時水質向上が得られ安全性の高い製品 ・特殊技術者が不要になり濁水処理全体のコスト削減に繋がる ・液体より固体は品質保持性が高く、備蓄に適している。	KT-070107-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
248	環境対策工	生物・生態保全対策工	-	U型水路(現場打ちコンクリート)	ハイダセール	道路側溝、用水路等について小動物や昆虫が水路から脱出できる機能をもたせた技術	・プレキャスト製品であるため、施工設置が容易に行える ・小動物の落下を防止すると共に、容易に脱出が可能 ・新設・既設を問わず使用できる	CG-990009-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
249	環境対策工	その他	-	建設汚泥を中間処理して最終処分し、新材(砂)購入	泥土再資源化技術 E3(イーキューブ)システム	粒状固化工法による高含水建設汚泥・泥土の再資源化技術	・資源の有効利用、建設汚泥の再資源化率の向上等に貢献。 ・短時間(約20～50秒)で建設汚泥等を粒状に改質する。 ・類似工法と比べても経済性に優れている。	CB-030057-V	少実績優良技術 (H22年度～)
250	調査試験	測量	地上測量	事前計算による丁張り設置作業	3次元設計データを用いた計測及び誘導システム	データコレクタに取り込んだ設計データを基に各種計算を現地で行うことで作業効率を向上する測量システム	・正確な盛土・切土の指示がリアルタイムにおこなえる ・現場に応じた杭設置・丁張り設置がおこなえる	KT-060150-V	H24年推奨 設計比較対象技術 (H23年度～) 少実績優良技術 (H21～23年度)

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
251	調査試験	測量	地上測量	トータルステーションによる地形測量(平板測量)	フィールドワークス	地形図等の測量図面作成システム	<ul style="list-style-type: none"> 記録が簡易なことにより高能率な作業が可能 初期投資額が安価である 三次元CADを使用した編集も可能である 	SK-070019-V	少実績優良技術 (H20年度～)
252	調査試験	測量	地上測量	トータルステーションによる地形測量・路線測量	地上型3Dレーザースキャナー空間情報計測システム	非接触型の地形・地物・構造物等の計測システム	<ul style="list-style-type: none"> 必要(不必要)データを初期段階で抽出可能 ターゲットを設置せずポイントの座標・標高を算出 構造物のエッジ等をピンポイントで算出 	SK-070020-V	少実績優良技術 (H20年度～)
253	調査試験	測量	地上測量	トータルステーションによる地形測量・路線測量	地上3次元レーザースキャナー斜断災害地形取得技術	地上3次元レーザースキャナーを用いた非接触方式による災害地計測システム	<ul style="list-style-type: none"> 3次元データを短時間に収集可能 精度の高い基準点測量への対応が可能 有効な高精度等高線データを作成可能 	SK-070023-V	少実績優良技術 (H19年度～)
254	調査試験	測量	地上測量	トータルステーション・レベルによる計測	3次元レーザースキャナーによる空間計測工法	レーザースキャナーにより数百万点の三次元点群座標データを取り込み、そのデータから縦横断測量等各業務形態に応じた加工処理を行う	<ul style="list-style-type: none"> レーザー光線による計測であるため作業時間の大幅な短縮が図れる。 汎用のCADソフトと連携することで平面図の作成、縦横断測量、土量計算等の作業効率が向上する。 測量に伴う足場設置や高所作業車が不要。 	HR-060028-V	設計比較対象技術 (H24年度～)
255	調査試験	測量	写真測量	トータルステーションによる地形測量・路線測量	デジタルフォトセオドライトを用いた三次元測量技術	画像計測による非接触三次元測量	<ul style="list-style-type: none"> 困難な箇所でも安全・迅速に三次元測量が可能 補助照明利用で遠方でも夜間計測が可能 計測対象物の側面の計測に適している 	SK-070022-V	少実績優良技術 (H20年度～)
256	調査試験	測量	写真測量	トータルステーション	デジタルカメラ三次元計測システム PIXIS	計測対象構造物を撮影した写真で三次元計測する技術	<ul style="list-style-type: none"> 三次元取付け角度の確認などテープ計測では困難であった寸法確認が簡単に行うことができる。 計測機器据付作業(位置置え)が不要と成るので作業時間が短縮される。 	KT-070053-V	H24活用促進技術
257	調査試験	地質調査	地表調査	平板載荷試験	キャスポル	構造物などの基礎地盤の支持力計算に必要なパラメータを測定し、施工管理に活かす技術	<ul style="list-style-type: none"> 地盤の支持力特性値などをリアルタイムに評価できる 専門技術者依存度が低い 反力が不要なので狭地や山間部でも適用できる 	KK-980055-V	H23活用促進技術
258	調査試験	地質調査	地表調査	地盤の平板載荷試験(JGS 1521)	簡易支持力試験機エレフト(地盤の平板載荷試験の補完試験機)	地盤の平板載荷試験(JGS 1521)の補完機として、表層地盤の支持力を迅速・安価・容易に計測する試験機	<ul style="list-style-type: none"> 試験機及び載荷板の小型化、試験方法の工夫などにより、測定時間の短縮、狭い箇所での測定ができる。 	SK-070010-V	H23活用促進技術
259	調査試験	構造物調査	非破壊試験・調査	足場を設置しての接触型計測	土木(建築)構造物一般図作成システム	3次元レーザースキャンシステムを活用した非接触型計測	<ul style="list-style-type: none"> 準備の段階での作業時間・費用が削減できる 計測時の安全性の確保ができる 机上で現場状況を詳細に確認することができる 	KK-020041-V	少実績優良技術 (H20年度～)
260	調査試験	構造物調査	非破壊試験・調査	橋梁点検車による橋梁点検診断	桁下診断システム	易的な装置により橋梁下面の点検・調査を足場不要で行うものである	<ul style="list-style-type: none"> 点検員が橋梁下に降りる必要がないため 工期の短縮 	SK-010029-V	少実績優良技術 (H21年度～)
261	調査試験	構造物調査	非破壊試験・調査	リバウンドハンマ(反発硬度法)	コンクリートテスター(CTS-02)	簡便かつ迅速にコンクリートの圧縮強度推定や、表面近傍の浮きや剥離の検知、及び劣化度合い(塑性化)を検知するコンクリート専用の非破壊検査装置	<ul style="list-style-type: none"> 特殊な技術は必要なく誰でも簡単に測定可能 構造物の局部的な状況だけでなく、全体の状況把握が可能 解析結果をExcelファイルとして出力できるため、データの整理、編集のスピードが飛躍的に向上 	HK-060013-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
262	調査試験	構造物調査	非破壊試験・調査	クラックスケールを用いたひび割れ測定とスケッチデータに基づく図面作成	ひび割れ計測システム	離れた場所からコンクリート構造物に生じたひび割れの幅・長さ・形状・位置座標を測定し、自動作図する技術	<ul style="list-style-type: none"> 費用が削減され、経済性の向上が期待できる 自動的に作図でき測定データの再現品質の向上が期待できる 1.8mm～2.5mm程度まで誤差を削減できる 	KK-080019-V	H24準推奨技術 少実績優良技術 (H23年度～)
263	調査試験	構造物調査	非破壊試験・調査	引き抜き工法	埋設部根入れ深さ測定装置	防護柵等の埋設部根入れ深さ測定装置	<ul style="list-style-type: none"> 施工後の構造物の根入れ深さを短時間で測定可能。 超音波を利用することにより誰もが簡単に高精度の測定が可能 	KT-060039-V	H24活用促進技術
264	調査試験	構造物調査	非破壊試験・調査	打音法による橋梁点検	赤外線調査トータルサポートシステム Jシステム	橋梁等のコンクリート構造物の浮き・空洞などの変状箇所を、赤外線法により、高精度かつ定量的に抽出する橋梁点検技術	<ul style="list-style-type: none"> 足場上などの危険を伴う高所作業を減少させ、作業の安全性が向上する。 打音点検面積を削減することにより、橋梁点検全体の経済性が向上する。 JR交差部など、規制が困難な箇所の損傷状況を遠望から把握することが可能。 	SK-110019-V	少実績優良技術 (H24年度～)
265	調査試験	構造物調査	耐久性等調査	各種足場、高所作業車、橋梁点検車などで対応	特殊高所技術	足場や橋梁点検車等を使用せずロープ・装備品を使用し近接目視点検をおこなう技術	<ul style="list-style-type: none"> 足場設置・撤去が不要 作業時の安全性向上 交通規制を伴わない 	SK-080009-V	少実績優良技術 (H20年度～)
266	調査試験	その他	—	高所作業車を使用した床版点検	デジタル画像による、構造物の点検・分析支援システム	デジタルカメラの画像データを利用し、画像処理技術で構造物の点検や劣化分析を支援する	<ul style="list-style-type: none"> 調査費用の低減 ひび割れ幅を安定的に測定することを可能 高所作業車や足場を使用せず診断が可能 	CB-050020-V	少実績優良技術 (H20年度～)
267	電気通信設備	共通設備	ハンドホール	既設施設機能無し鉄蓋を、施設機能を有する鉄蓋への取替	通信設備等特殊部セキュリティ対策用二重蓋物品	情報通信設備用のマンホール・ハンドホール・特殊部における、第三者の不正侵入・ケーブル損傷事故等を防止するセキュリティ対策二重蓋物品	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ機能付加でハンドホール内への人為的進入防止 形状を選ばず多種多様な設備に対応が可能 軽量で、入線作業、点検、補修等作業で蓋開閉作業が容易 	CB-030023-V	設計比較対象技術 (H23年度～)
268	電気通信設備	共通設備	ハンドホール	ステンレス薄鋼板プレス成型二重蓋	情報BOXハンドホール用シリンダー錠付中蓋	ハンドホール内部に「シリンダー錠付中蓋」を取付けて二重構造とし、無断侵入を防止するセキュリティ対策技術	<ul style="list-style-type: none"> 高温多湿や塩水のかかる条件下での耐久性が向上 ケーブル養生等の事前準備の時間を省略 ケミカルアンカーのように熟練度を必要としなくなった 	KK-030028-V	H24準推奨技術 設計比較対象技術 (H23年度～)
269	電気通信設備	共通設備	配管・配線設備	ロックウール巻き付け工法	橋梁添架耐火防護プレキャスト工法	通信・情報管路防護工法。露出している光ケーブル收容管を火災や人の破壊から守るための耐火防護工法	<ul style="list-style-type: none"> 現場での加工工程を減らすことが出来る 工事期間の短縮と共に安全性・経済性及び品質の向上を図る 断熱材の完全包装、飛散防止で作業環境・周辺環境への影響が無い 	KT-000034-V	設計比較対象技術 (H23年度～)

有用な新技術一覧(平成24年9月末現在) 赤字はH24.6月末時点からの追加・再評価技術

番号	NETIS工種分類			従来工法 (参考)	技術名称	技術概要	期待される効果	NETIS 登録番号	有用な 技術名称 (適用年度)
	レベル1	レベル2	レベル3						
270	電気通信設備	共通設備	配管・配線設備	硬質塩化ビニル電線管	合成樹脂製多孔管 孔多くん	道路等の地下空間を活用し、電気・電話・通信ケーブルなどをコンパクトにまとめ収容するユニット式の新しい管路システム	<ul style="list-style-type: none"> ・省人・省力化が実現できる ・開削面積が少なくできる ・埋め戻しに発生土を使用でき、非常に経済的 	KT-990542-V	H23活用促進技術
271	電気通信設備	電気設備	道路照明、トンネル照明設備	低圧ナトリウム灯によるトンネル照明器具	広スパン対応トンネル照明器具	トンネル基本照明において、トンネル縦断方向に配光を広げ路面の輝度ムラを改善したトンネル照明器具	<ul style="list-style-type: none"> ・約28%のトータルコスト削減が図れる ・障害物の視認性に重要な輝度均斉度(0.40以上)を確保 ・設置工事、維持作業の省力化が図れる 	KT-050106-V	設計比較対象技術(H23年度～)
272	電気通信設備	通信設備	テレメータ設備	水防テレメータシステム	通信ルートを自動的に組み換える無線通信を用いた水位センシングシステム	簡易水位計のデータを通信ルートを自動的に組み換える無線通信を用いて中継装置から一定間隔で収集し、さらにそのデータを監視装置に送信し、河川の水位を監視する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・通信ルートを自動的に組み換える無線通信を用いることで通信経路の確保が容易。 ・無線観測局は、太陽電池を用いることで商用電源が不要。 ・小型化により設置が容易で、低コスト化により多数配置が可能。 	QS-090024-V	H24準推奨技術 少実績優良技術(H23年度～)
273	電気通信設備	電子応用設備	管理用カメラ、センサー設備	インターネットを利用するネットワークカメラ	エコモバイル定点カメラ情報サービス「ミルモット」	現場に設置した定点カメラが撮影する写真をパソコンや携帯電話で確認することにより、隔地からでも現場状況を把握可能	<ul style="list-style-type: none"> ・現場を見たいときに確認でき、無駄なく素早い対応が可能 ・市街地、山地を問わず、あらゆる工事現場を監視できる ・より安全な管理をバックアップできる 	HK-090002-V	設計比較対象技術(H23年度～)
274	電気通信設備	その他	—	ALC製局舎(軽量気泡コンクリート)	新しい構造の軽量・高断熱型局舎	雨量・水位観測装置、テレメータ装置、CCTV監視装置、無線装置等を収容する為の局舎(収容箱)	<ul style="list-style-type: none"> ・断熱性UPIによる省エネ効果 ・結露しない為、局舎内装置の高寿命化 ・地盤に負担が掛からず、基礎を小さくする事が出来る 	HR-020004-V	設計比較対象技術(H23年度～)
275	港湾・港湾海岸・空港	構造物撤去工	撤去工	ワイヤーによるブロック撤去	グラブ式異形ブロック撤去装置	異形ブロックつかみ機	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性・施工性に優れている ・一般の陸上・水上クレーンに吊下げ使用可能 ・土砂に反没した状態でも撤去可能 	HRK-040003-V	少実績優良技術(H19年度～)
276	その他	その他	—	手作業によるリスクアセスメント	「Orpheus」オルフェウス	工事における労働安全管理の実施・運用を行うシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクアセスメントの作成を自動化する事により客観的でかつ漏れなく、正確に、素早く作成する事が出来る 	KT-060093-V	設計比較対象技術(H23年度～) 少実績優良技術(H21～23年度)
277	その他	その他	—	発電機使用の規制看板	ソーラー式LED表示機	ソーラー充電式バッテリーによるLED文字・映像表示装置	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーラー式の採用により、場所を選ばず、環境負荷に配慮した運用が可能 	KK-100021-V	設計比較対象技術(H24年度～)

有用な新技術	277技術
平成24年度推奨技術	4技術
平成23年度推奨技術	4技術(うち2技術が準推奨技術の再評価)
平成22年度推奨技術	1技術(うち1技術が準推奨技術の再評価)
平成21年度推奨技術	1技術(うち1技術が準推奨技術の再評価)
平成24年度準推奨技術	15技術(うち1技術が準推奨技術の再評価)
平成23年度準推奨技術	3技術(うち1技術が準推奨技術の再評価)
平成22年度準推奨技術	4技術
平成21年度準推奨技術	5技術
平成20年度準推奨技術	1技術
平成19年度準推奨技術	2技術
設計比較対象技術	180技術(うち22技術が推奨技術、10技術が準推奨技術)
少実績優良技術	54技術(うち3技術が準推奨技術)
平成24年度活用促進技術	8技術
平成23年度活用促進技術	19技術
平成22年度活用促進技術	8技術(うち1技術が準推奨技術)
平成21年度活用促進技術	5技術(うち2技術が準推奨技術)
平成20年度活用促進技術	1技術